

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-5

< 第4週 >

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.6-8

< インフルエンザ >

定点当たり報告数は2011年第42週以降増加が続いており、第4週の定点当たり報告数は35.95で、前シーズンの最高値を上回った



病原体情報
P.9-13

インフルエンザウイルス 2011/12シーズン / 感染性胃腸炎関連ウイルス 2011/12シーズン



速報

< 今週は該当記事はありません >



海外感染症情報
P.14-18

インフルエンザ



感染症の話
P.19

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(4週)
P.20-25



4週のデータ
P.26-38



発生動向総覧

< 第4週コメント > 2月1日集計分

全数報告の感染症

注意: これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が集計の期日以降に届くこともあります。それらについては一部を除いて発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。

感染経路、感染原因、感染地域については、確定あるいは推定として記載されていたものを示します。

1類感染症

報告なし

2類感染症

結核337例

3類感染症

細菌性赤痢2例 菌種: *S. flexneri*(B群)2例__感染地域: 東京都2例

腸管出血性大腸菌感染症7例(有症者2例、うちHUS なし)

感染地域: 国内7例

国内の感染地域: 群馬県2例、山口県2例、茨城県1例、福岡県1例、鹿児島県1例

年齢群: 1歳(2例)、2歳(1例)、10代(1例)、20代(1例)、40代(1例)、60代(1例)

血清型・毒素型: O91 VT1(3例)、O157 VT2(2例)、O111 VT1(1例)、O157 VT1・VT2(1例)

累積報告数: 51例(有症者25例、うちHUS なし . 死亡なし)

4類感染症

E型肝炎2例 感染地域: 北海道2例__感染源: 豚レバー1例、不明1例

つつが虫病5例 感染地域: 鹿児島県2例、広島県1例、愛媛県1例、台湾1例

デング熱4例 感染地域: インド2例、タイ1例、フィジー1例

レジオネラ症6例(肺炎型6例)

感染地域: 群馬県1例、埼玉県1例(温泉)、長野県1例、大分県1例(温泉)、タイ1例、国内・国外不明1例

年齢群: 50代(1例)、60代(3例)、70代(1例)、80代(1例)

5類感染症

アメーバ赤痢13例(腸管アメーバ症12例、腸管及び腸管外アメーバ症1例)

感染地域: 埼玉県2例、大阪府2例、福岡県2例、神奈川県1例、大分県1例、国内(都道府県不明)1例、カンボジア/ベトナム1例、国内・国外不明3例

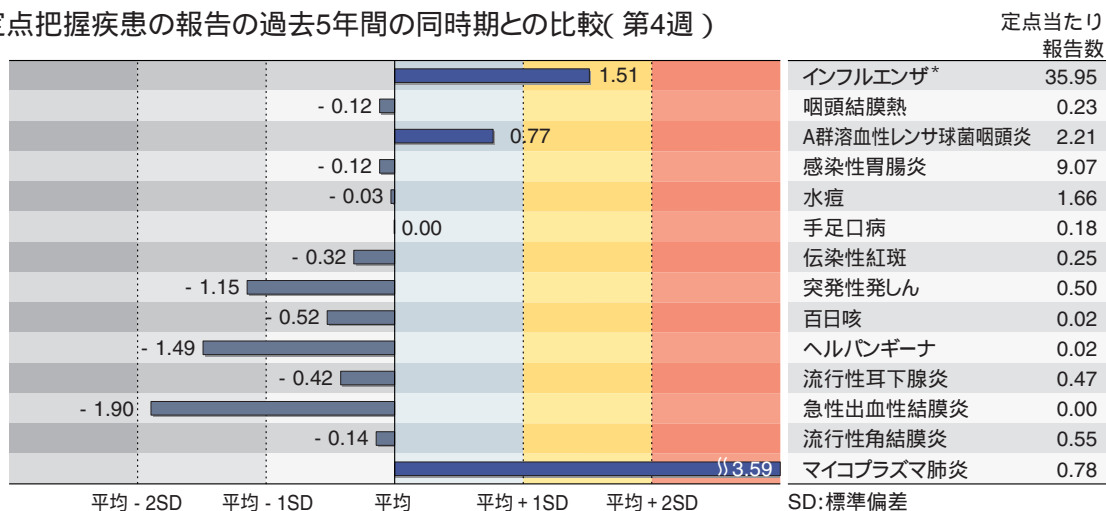
感染経路: 性的接触6例(異性間3例、同性間3例)、経口感染1例、不明6例

ウイルス性肝炎2例 B型2例__感染経路: 性的接触(異性間・同性間不明)1例、不明1例

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

定点把握疾患の報告の過去5年間の同時期との比較(第4週)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)との差をグラフ上に表現した。(*2009年のパンデミックの影響を受けています。)

インフルエンザ

定点当たり報告数は第42週以降増加が続いており、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別では福井県(74.88)、高知県(66.69)、愛知県(60.48)、三重県(54.58)、岐阜県(49.87)、和歌山県(48.32)、静岡県(48.07)が多い。

小児科定点報告疾患

RSウイルス感染症の報告数は2,073例と第51週以降減少が続いている。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約76%を占めている。

咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では新潟県(1.27)、富山県(0.79)、福岡県(0.67)が多い。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では富山県(6.93)、石川県(5.45)、福井県(5.27)が多い。

感染性胃腸炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では大分県(25.9)、宮崎県(16.9)、福井県(16.4)が多い。

水痘の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では宮崎県(4.03)、鹿児島県(3.50)、山形県(2.83)が多い。

手足口病の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では石川県(1.28)、滋賀県(0.97)、宮崎県(0.57)が多い。

伝染性紅斑の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では鳥取県(1.37)、島根県(1.00)、高知県(1.00)が多い。

百日咳の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では沖縄県(0.26)、栃木県(0.08)、広島県(0.06)が多い。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は減少した。都道府県別では熊本県(0.10)、徳島県(0.09)、宮崎県(0.09)が多い。

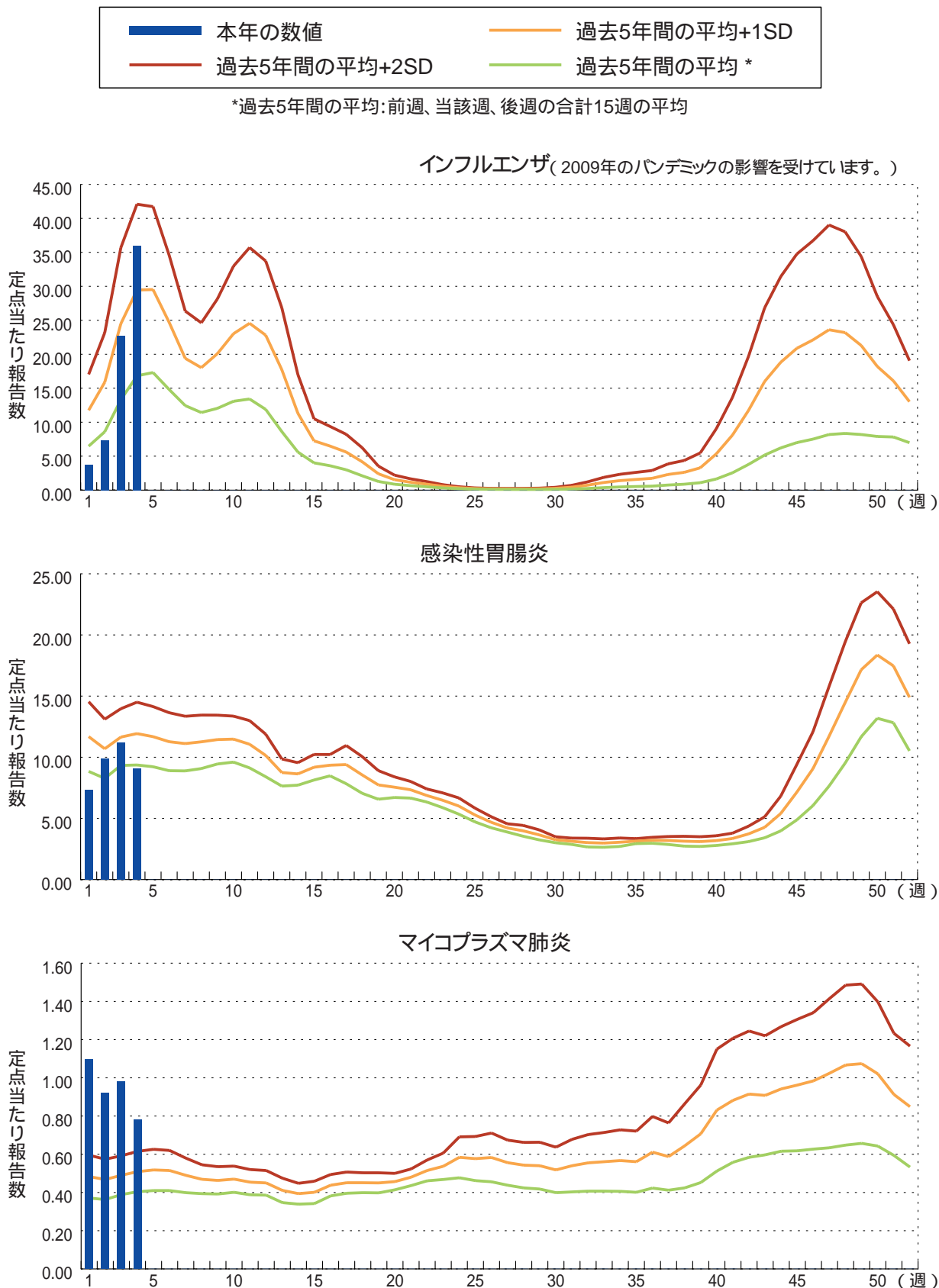
流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は3週連続で減少した。都道府県別では新潟県(1.67)、山形県(1.53)、宮崎県(1.49)が多い。

基幹定点報告疾患

マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は減少したが、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別では埼玉県(2.67)、福島県(2.57)、栃木県(2.29)が多い。

図. 主要定点把握疾患の過去5年間との週別比較(2012年第4週)

青のバーで示す本年の定点当たり報告数が赤のラインを超えているときには、過去5年間の週と比較してかなり多いことを示す。





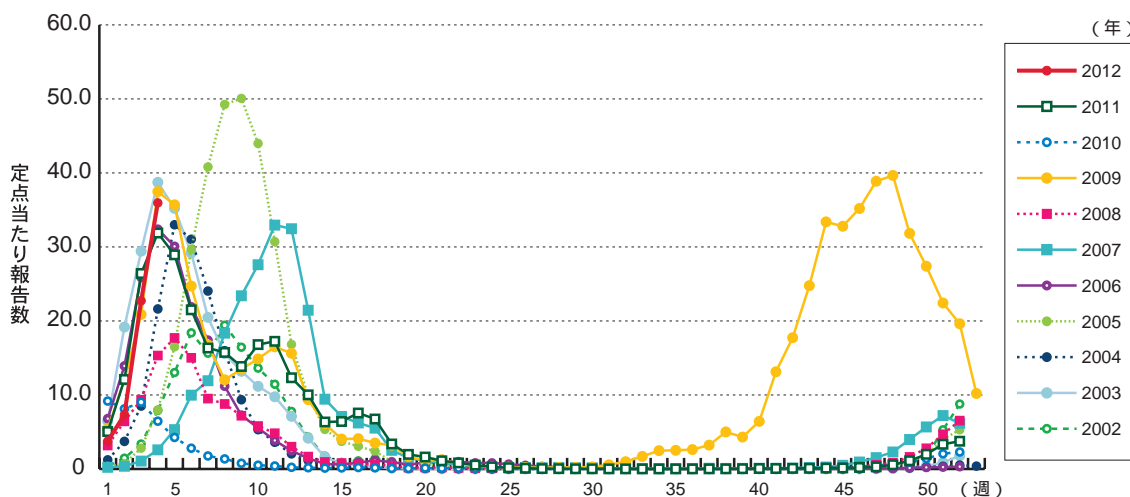
注目すべき感染症

インフルエンザ

インフルエンザの主な感染経路はくしゃみ、咳、会話等で口から発する飛沫による飛沫感染であり、他に接触感染もあるといわれている(CDCホームページ: <http://www.cdc.gov/flu/about/disease/spread.htm>)。感染対策としては、飛沫感染対策としての咳エチケット、接触感染対策としての手洗い等の手指衛生の徹底が重要であると考えられるが、たとえインフルエンザウイルスに感染しても、全く無症状の不顕性感染例や臨床的にはインフルエンザとは診断し難い軽症例が存在する。従って、特にヒト-ヒト間の距離が短く、濃厚な接触機会の多い学校、幼稚園、保育園等の小児の集団生活施設においてインフルエンザの集団発生をコントロールすることは困難であると思われる。

感染症発生動向調査では、全国約5,000カ所(小児科定点約3,000、内科定点約2,000)のインフルエンザ定点からの報告に基づいてインフルエンザの発生動向を分析している。インフルエンザの定点当たり報告数は、2011年第42週以降増加が続いており、2012年第4週の定点当たり報告数は35.95(報告数177,290)となり、前シーズンの最高値(2011年第4週定点当たり報告数31.88)を上回った(図1)。都道府県別では福井県(74.88)、高知県(66.69)、愛知県(60.48)、三重県(54.58)、岐阜県(49.87)、和歌山県(48.32)、静岡県(48.07)、石川県(47.42)、山口県(45.64)、岩手県(45.52)の順となっている。定点当たり報告数は3週連続して全ての都道府県で

図1. インフルエンザの年別・週別発生状況(2002 ~ 2012年第4週)



増加がみられ、14の府県では40.00を上回った(図2)。

定点医療機関からの報告をもとに、定点以外を含む全国の医療機関をこの1週間に受診した患者数を推計すると約173万人(95%信頼区間: 160～185万人)〔暫定値〕となり、5～9歳約50万人(28.9%)、10～14歳約33万人(19.1%)、0～4歳約26万人(15.0%)、30代約16万人(9.2%)、40代約12万人(6.9%)、60歳以上約11万人(6.4%)の順となっており、特に14歳以下の報告数が急増している(図3)。2011年第36週以降これまでの累積の推計受診患者数は398万人(95%信頼区間: 382～413万人)〔暫定値〕であった。

図2. インフルエンザの都道府県別定点当たり報告数の推移(2012年第2～4週)

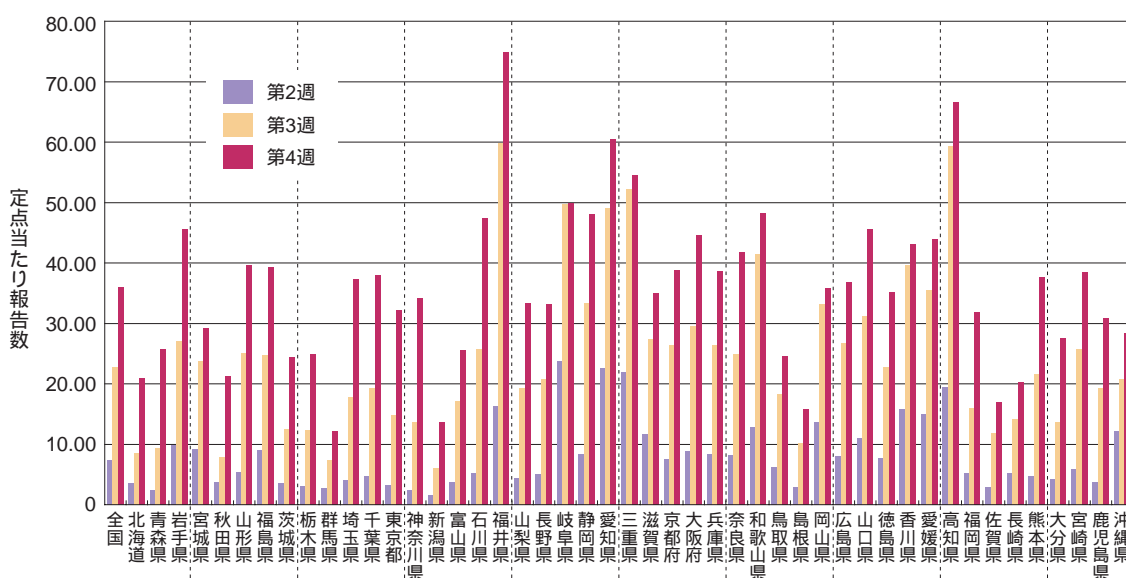
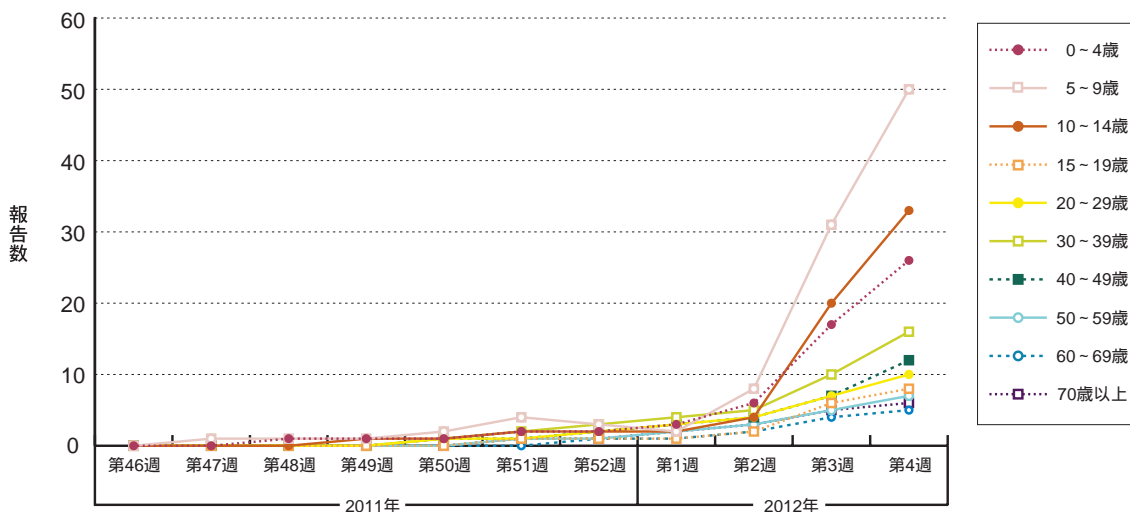


図3. インフルエンザ推計受診患者数(暫定値)の年齢群別・週別推移 (2011年第46週～2012年第4週)



2011年第36週～2012年第4週に国内では1,511検体のインフルエンザウイルスの検出が報告されており、AH1pdm09が5件(0.3%)、AH3亜型(A香港型)1,360件(90.0%)、B型146件(9.7%)とAH3亜型が大半を占めている状態が続いている。

インフルエンザの報告数は急増が続いており、全国的に本格的な流行時期を迎えている。今後ともインフルエンザの発生動向には注意が必要である。



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

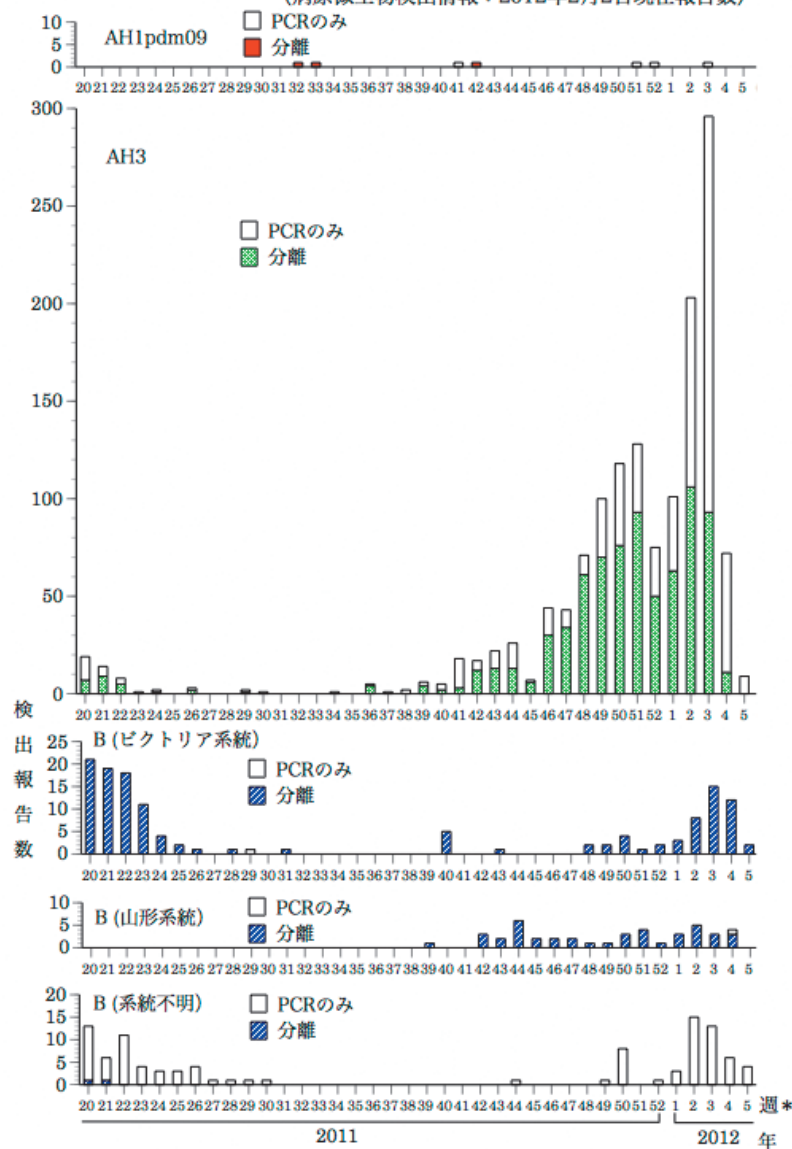
国立感染症研究所・感染症情報センターには各都道府県市の地方衛生研究所(地研)から「病原体個票」と「集団発生病原体票」が報告されています。これには感染症発生動向調査の定点およびその他の医療機関、保健所等で採取された検体から検出された病原体の情報が含まれています。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2012年2月2日現在報告分)

インフルエンザウイルス 2011/12シーズン

2011/12シーズン最初の2011年第36週～2012年第5週までAH3亜型の検出が続いている。B型ビクトリア系統株、B型山形系統株、AH1pdm09は少数報告されている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2011年第20週～2012年第5週
(病原微生物検出情報: 2012年2月2日現在報告数)



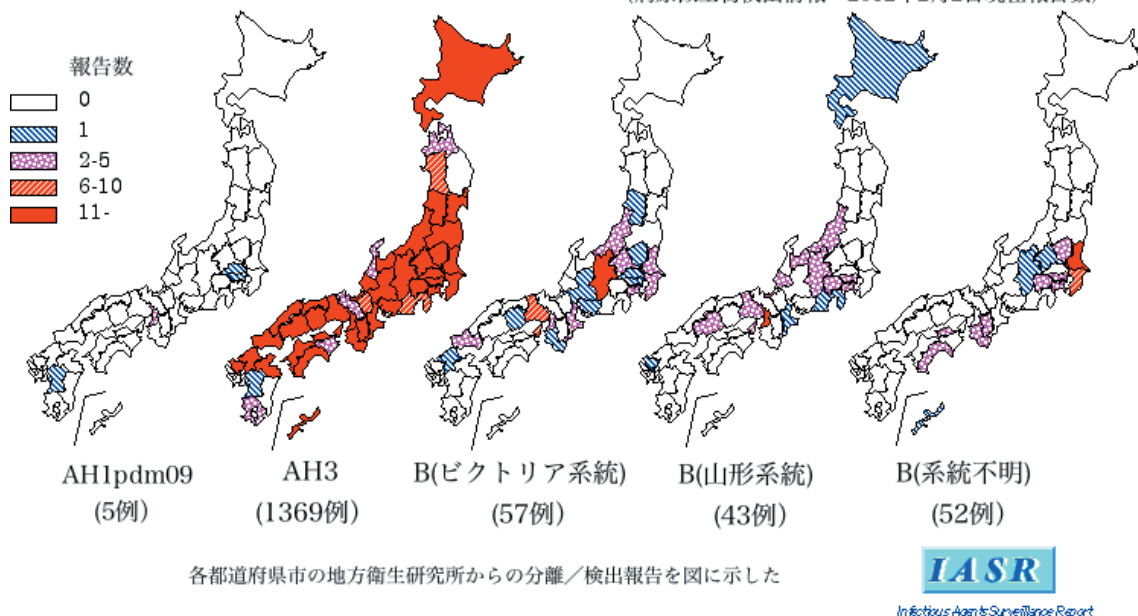
(データは現在週および過去の週に遡って追加が見込まれる) * 検体採取週
各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を図に示した



Infectious Agents Surveillance Report

2011年第36週～2012年第5週の累積では、AH1pdm09が4都府県から5件、AH3亜型が44都道府県から1,369件、B型はビクトリア系統株が19都府県から57件、山形系統株が14都道府県から43件、系統不明株が13都府県から52件報告されている。

都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2011年第36週～2012年第5週
(病原微生物検出情報：2012年2月2日現在報告数)

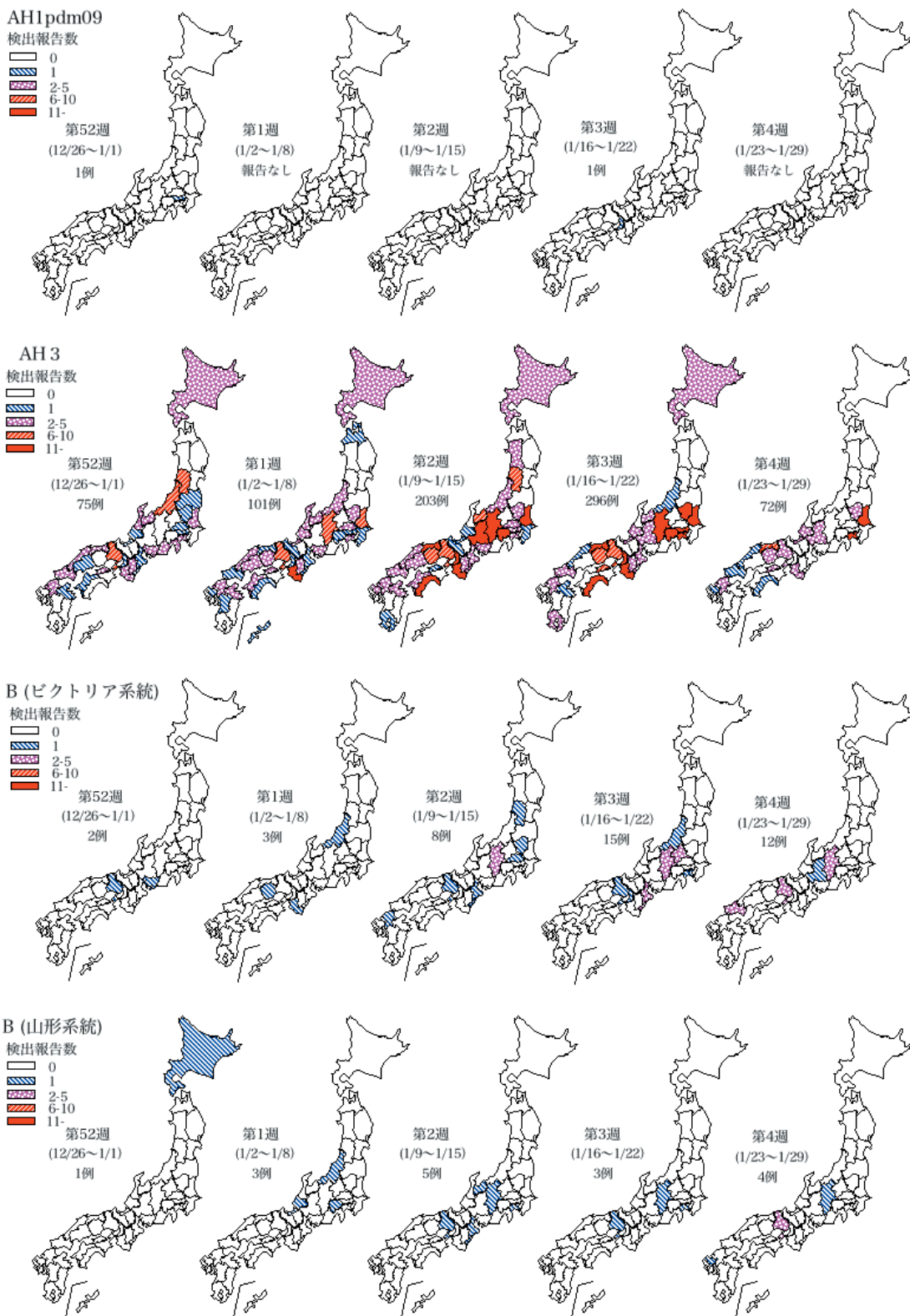


直近の2011年第52週～2012年第4週の5週間ではAH1pdm09が東京都、大阪府各1件、AH3亜型が40都道府県から747件(神奈川県82件、和歌山県74件、茨城県62件、大阪府、鳥取県各43件、山梨県39件、栃木県37件、兵庫県34件、長野県33件、高知県28件、東京都、富山県、岡山県各19件、岐阜県18件、福岡県16件、北海道、新潟県各15件、奈良県、山口県、香川県各13件、山形県、福井県、愛知県各12件、島根県11件、大分県9件、埼玉県8件、愛媛県7件、三重県、佐賀県各6件など)、B型はビクトリア系統株が16府県から40件(長野県11件、兵庫県8件、三重県4件、群馬県3件、新潟県、山口県各2件など)、山形系統株が10道県から16件(兵庫県4件、長野県3件、神奈川県2件など)、系統不明株が10都府県から38件(茨城県19件、香川県4件、栃木県、東京都各3件、山梨県、奈良県、高知県各2件など)報告されている。

このうち、輸入例からの検出が4件(AH3亜型シンガポール、スウェーデン、タイ各1件、B型山形系統株グアム1件)報告されている。

インフルエンザウイルス分離・検出速報は <http://idsc.nih.go.jp/iasr/influ.html> を参照ください。

週別都道府県別インフルエンザウイルス分離・検出報告状況、2011年第52週～2012年第4週
(病原微生物検出情報：2012年2月2日現在報告数)



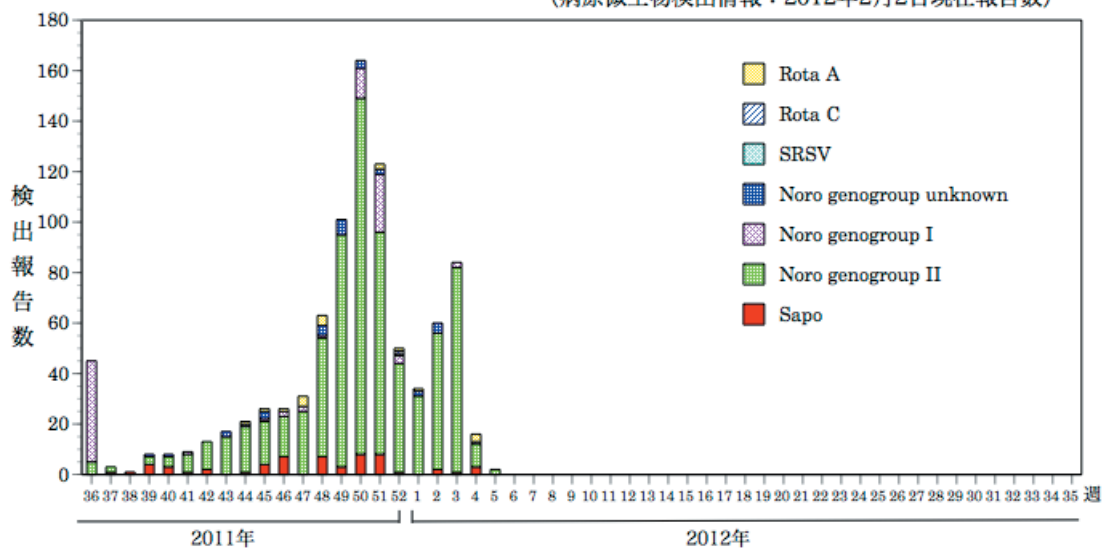
*各都道府県市の地方衛生研究所からの分離/検出報告を検体採取週別に図に示した



感染性胃腸炎関連ウイルス 2011/12シーズン

2011/12シーズン最初の2011年第36週に大阪府で幼稚園での集団発生例からノロウイルス genogroup(G)/4が検出されている。第39週以降、散発例・集団発生例からノロウイルスGIIの報告が増加し、第50週をピークに一旦減少したが、2012年第2～3週に再び増加している。

週別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告数、2011/12シーズン
(病原微生物検出情報：2012年2月2日現在報告数)

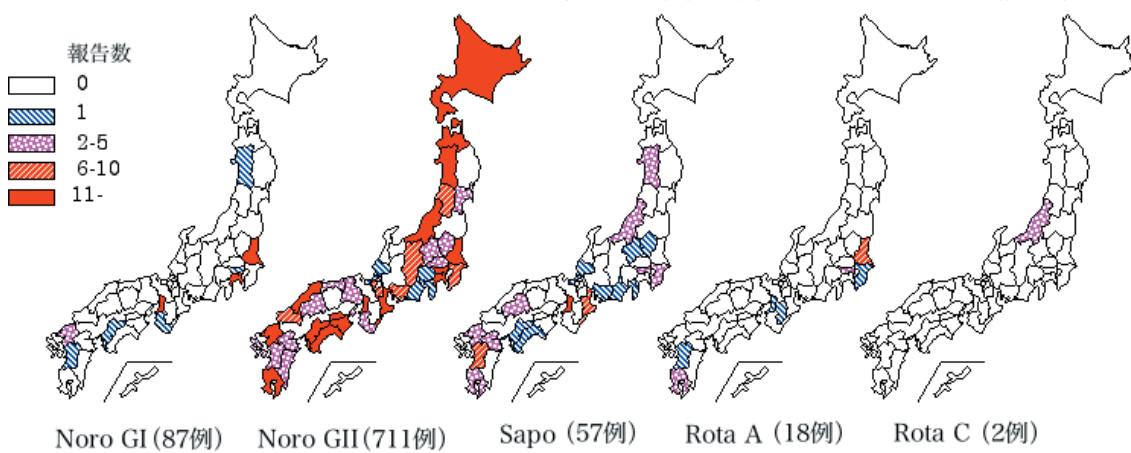


* 各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した



2011年第36週～2012年第5週にノロウイルスGIが9都府県から87件(うち、GI/4 36件、GI/3 2件、GI/1、GI/14各1件、GI/NT 47件)、ノロウイルスGIIが37都道府県から711件(うち、GII/4 79件、GII/2 27件、GII/13 10件、GII/3 9件、GII/6、GII/12各7件、GII/NT 572件)、サポウイルスが18都府県から57件(うち、GI 33件、GII 3件)報告されている。また、A群ロタウイルスが7都府県から18件報告されており、このうち第47週に茨城県で発生した施設内集団発生事例の成人から検出された3件は遺伝子型G2であった。この他にC群ロタウイルスが新潟県から第52週と第4週に各1件、アストロウイルスが埼玉県から第47週に1件報告されている。

都道府県別ノロウイルス、サポウイルス、ロタウイルス検出報告状況、2011/12シーズン
(病原微生物検出情報：2012年2月2日現在報告数)



* 各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した



ノロウイルス検出速報は <http://idsc.nih.go.jp/iasr/noro.html> を参照ください。



海外感染症情報

*WHOのEPR(Epidemic and Pandemic Alert and Response)による、感染症アウトブレイクニュース等を掲載しています。

インフルエンザ

2012年1月20日 - 更新151

【要約】

- ・カナダ、ヨーロッパ(トルコ、スペイン、イタリア、マルタ)、北アフリカ(チュニジア、アルジェリア)、中国、中東(イラン)で活動性が目立って上昇している地域もあるが、北半球温帯地域諸国でのインフルエンザの活動性は、全体に低いままである。
- ・熱帯地域諸国では、インフルエンザウイルスB型の検出が増加している中国南部、減少傾向にあるもののインフルエンザウイルスA(H3N2)の検出が続いているコスタリカを除くほとんどの国で活動性は低いか検出レベル以下である。
- ・南半球温帯地域諸国ではインフルエンザの活動性は流行間期のレベルだが、チリ、パラグアイ、オーストラリアで夏期の持続的な低いレベルのA(H3N2)の伝播が報告されている。
- ・北半球温帯地域諸国で最も検出されているウイルス型ないし亜型は、インフルエンザウイルスA(H1N1)pdm09が主流であるメキシコおよびB型が主流である中国を除いてA(H3N2)である。メキシコを除けば、A(H1N1)pdm09は世界中でごく少数の報告にとどまっている。
- ・ウイルスの抗原分析を行っている国からの報告では、ほとんど全てのA型ウイルスは現行の3価インフルエンザワクチンに含まれているウイルスに抗原性が類似していることを示している。一方、多くのB型は現行のワクチン株に含まれていない山形系統であるが、前述の中国を除いて、B型の検出数はA型と比較して極めて低い。
- ・オセルタミビル耐性は非常に低いレベルで観察されており、昨シーズンのレベルを超えた明らかな増加はない。

【北半球温帯地域諸国】

北半球の多くの国でインフルエンザの活動性は国のベースラインレベル以下のままであるが、持続した増加傾向が温帯地域全体で報告されており、一部の地域では季節性の流行が明らかに始まっている。

・北アメリカ

カナダではインフルエンザ様疾患(ILI)の受診率は数週間前と比較して持続的に増加しているが、この時期に予測される範囲内のレベルにとどまっている。2つの州(ブリティッシュコロンビア、サスカチュワン)の3地域でインフルエンザの局地的な活動性が報告され、5つの州(ブリティッシュコロンビア、アルバータ、オンタリオ、ケベック、サスカチュワン)の18地域で散発的な活動性が報告されていた。今週は14例のインフルエンザ関連入院が報告されていた(小児6例、成人8例)。現在までのところ、今シーズンの小児科入院の30%が2歳未満である一方で、成人入院の57%が65歳以上であった。1月第1週に報告された109例の検査確定例のうち、77%がA型であった。A型のうち、88%がA(H3N2)であった。2011年8月以降、検査確定A(H1N1)pdm09症例のうちの50%、検査確定B型症例の35%が5歳未満であった。

米国では国全体のILIの受診率は低く(1.7%)、ベースライン(2.4%)以下のままである。インフルエンザ陽性検体の割合もまだ低い(3%未満)が、ILIも陽性率も12月中旬以降増加している。ILIの活動性は1つの州(アラバマ)で中等度であり、その他の州では低いかあるいは最小に留まっている。地域的なインフルエンザの活動性は1つの州(コロラド)で観察され、4つの州(テキ

サス、バージニア、ニューハンプシャー、マサチューセッツ)で局地的な活動性が、その他の州は散発的な活動性ないしは活動性がないとの報告が続いていた。122都市の定点サーベイランスシステムからの肺炎とインフルエンザによる死亡の割合は、昨年と比較して低いままである。2012年第1週に検出されたウイルスの94%がA型であった。亜型別されたA型のうち92%がA(H3N2)であった。A型ウイルスの99%は現行の3価ワクチンに含まれるウイルスと抗原性が類似していた。B型ウイルスの17株中9株は山形系統であったが、残りの8株はビクトリア系統で北半球のワクチン株に抗原性が類似していた。

メキシコではカナダや米国とは異なり、2011年12月下旬以降の全検査確定例の90%がA(H1N1)pdm09であった。一部の地域でA(H1N1)pdm09の局地的なアウトブレイクが報告されている。

・ヨーロッパ諸国

ヨーロッパでは全体的なインフルエンザの活動性は低いが、呼吸器疾患の活動性とインフルエンザウイルスの検出が一部の地域で増加し始めている。欧州疾病予防管理センター(European Centre for Disease Prevention and Control: ECDC)は、欧州大陸でインフルエンザシーズンが始まり、現在はワクチン株のA(H3N2)が主流となっているがILI受診者数と重症急性呼吸器感染症(SARI)入院数は、全体としては流行間期のレベルのままであると報告している。ここ数週間で、インフルエンザ活動性の地理的分布を報告している44か国中16か国で活動性はないと報告しているが、21か国で散発的な活動性が、4か国で局地的な活動性が、3か国(トルコ、イタリア、マルタ)で地域的な活動性が報告された。スペイン、トルコ、スウェーデン、ノルウェー、イタリアでは、ウイルス検出の明らかな増加傾向が過去数週間に渡って観察されているが、トルコだけ昨年の同時期と比較して報告数が多い。トルコとマルタは中等度のインフルエンザの活動性と中等度の医療機関への影響を報告している。全死因による死亡率は、この時期のレベルとしては低いままであった。2012年第1週のヨーロッパの定点検体は16%がインフルエンザ陽性で、前週からの増加傾向が続いている。2012年第1週ではA(H3N2)が最も多く検出された。10月上旬以降に検出されたウイルスの92%がA型であり、そのうち93%がA(H3N2)であった。2012年第1週は、亜型別されたA型の130検体全てがA(H3N2)であった。

・北アフリカと地中海東部

北アフリカと地中海東部地域では特にアルジェリア、チュニジア、イランで10月以降インフルエンザ陽性検体数の増加が報告されている。ウイルス検出の増加は全地域ではないものの広範囲に渡っている。ヨーロッパと同様、A(H3N2)が主体で、型別されたほとんど全てのウイルスがこれである。

・アジア温帯地域諸国

中国北部ではILIによる外来患者の割合とインフルエンザ陽性検体の割合は前回の報告以来共に増加した。他の報告地域と異なり、中国ではB型が主流である。韓国と日本では最近数週間でインフルエンザ陽性検体数の持続的増加が報告されており、そのほとんどがA(H3N2)であった。日本ではILIの定点当たり報告数の増加も報告されている。

【熱帯地域諸国】

・アメリカ大陸の熱帯地域諸国

カリブ海と中央アメリカ諸国の大部分ではコスタリカを除き目立ったインフルエンザ感染伝播の

報告はない。コスタリカは2011年末にピークを迎えたA(H3N2)の検出が報告されているが減少傾向である。

・サハラ以南のアフリカ

サハラ以南のアフリカでは散発例ないしは低いレベルの伝播のみ報告された。カメルーンにおけるA(H3N2)の伝播は2011年12月中旬をピークに減少しているように見えるが、最近ではB型の検出が増加している。ケニアではインフルエンザ伝播の報告が去年は続いていたが、過去4週間は陽性検体数が減少しており、現在は非常に低いレベルにある。

・アジアの熱帯地域諸国

アジア熱帯地域では全体としてインフルエンザの活動性は低いままである。インドでは昨年9月以来継続して低いレベルのB型の流行が報告されている。中国南部ではB型の検出が増加しILIによる外来患者の割合が3.7%に増加したことが報告されており、これはここ数週間より高く、昨年の同時期と比較しても高い。その他のアジア熱帯地域諸国では少数のA(H3N2)とB型の報告が続いている。

【南半球温帯地域諸国】

南半球温帯地域諸国ではインフルエンザの活動性は流行間期のレベルであるが、チリ、パラグアイ、オーストラリアからは低いレベルのA(H3N2)の持続する伝播が報告されている。同様の流行期外の低いレベルの伝播が南アフリカから報告されていたが、現在は持続していない。

【査読された(信頼できる)文献から】

英国プライマリーケアコホートにおけるBMI(body mass index)とインフルエンザ関連肺炎罹患率

Influenza and Other Respiratory Viruses誌の2012年1月号にBlumentalsらが、BMIと季節性インフルエンザ関連肺炎のリスクに関する研究を発表した。英国プライマリーケアコホートにおけるBMIとインフルエンザ関連肺炎罹患率の関連を見ることを目的として、後方視的コホート研究が実施された。本研究には英国総合診療研究データベース(UK general practice research database)に登録された18歳以上の英国成人100万人以上が含まれており、肺炎を伴うインフルエンザ、ないしはインフルエンザという診断がなされた後の30日以内の肺炎で、BMI12-58kg/m²の患者が対象となっている。対象期間は、2000年1月1日から2007年12月31日までの8年間のデータとした。研究者達はインフルエンザ関連肺炎の罹患率が年齢とともに上昇することを明らかにしたが、代謝状態と肺炎の重症度の関連を見た幾つかの先行研究とは異なり、この研究では最も高い肺炎罹患率は最も低いBMIの層(<18.5kg/m²)で見られたという結果から、BMIと肺炎罹患率の関連は逆J字型になることを明らかにした。この群における肺炎罹患率は98.29/100,000人年であったのに対して、BMI>30kg/m²の層は32.33/100,000人年であった。さらに、2型糖尿病は、BMIが同じで糖尿病群と非糖尿病群を比較すると、肺炎の罹患率が2倍になるが、他のリスクを調整してBMI18.5-24.9の非糖尿病群と比較を行うと弱い関連を認めるのみであった。さらに18歳から49歳の患者を対象としたサブグループ解析も行っており、BMIと2型糖尿病は独立した肺炎のリスク因子ではないことがわかった。喫煙もまた肺炎罹患率の上昇と関連していたことは注目すべきである。著者らは、BMIとインフルエンザ感染の予後との関連は明らかでないままであり、公衆衛生上の意義からも更なる研究が必要であると結論付けている。

コメント :

Blumentalsらの研究は体重とインフルエンザ重症化のリスクの関連に関して興味深い新たな情報を提供している。パンデミックに関連して報告された多くのデータに対して、この研究が全体的にみてA(H3N2)が主流株であった時期で、検査確定のインフルエンザ症例に限っていない点を考えておくことは重要である。著者らは2009年のパンデミックインフルエンザA(H1N1)は、特にA(H3N2)を代表とする季節性インフルエンザで一般に罹患する年齢とは異なる年齢群に影響を与えたことを指摘している。彼らはパンデミックウイルスによって最も影響を受けた年齢群と同じ年齢群において部分的な解析を行うことでこの問題に答えようと試み、これによっても肥満は重症化のリスク因子ではないとしている。なぜ肥満あるいは低体重がインフルエンザの重症化リスクを増加させるかの理由について多くの可能性のある説明がなされている一方で、肥満と重症呼吸器疾患のリスクについての研究は必ずしも同じ結論ではない。カナダの12インフルエンザシーズンに渡るコホート研究では、他のリスク因子のないBMI>30の患者は正常体重の患者よりもインフルエンザシーズンに呼吸器系合併症で入院することが多いことを報告している。デンマークの複数年の研究では、この研究は明確にインフルエンザ肺炎を評価しているわけではないが、肥満と肺炎による入院には強い関連性があるものの、主要な慢性疾患の存在を調整するとこの関連性は消失することが報告されている。しかしながら、Fezeuらによる大規模なパンデミック2009の研究の系統的レビューとメタアナリシスでは、肥満はレビューした研究のすべてでリスク因子とされているわけではないが、全体的には肥満はパンデミックインフルエンザA(H1N1)感染で入院した症例のICU入室あるいは死亡のリスクを倍にすると結論している。この研究は基礎疾患の存在や入院期間の延長といった交絡因子を評価するためのデータがないという制限があるが、関連性は病的な肥満においてより強力であった。この重要な疑問が解決されるまでは、異常な体重のインフルエンザ患者、特に基礎疾患をもつ場合には注意深く観察、管理されるべきである。

参考文献 :

1. Blumentals WA, Nevitt A, Peng MM, Toovey S. Body mass index and the incidence of influenza associated pneumonia in a UK primary care cohort. *Influenza and Other Respiratory Viruses*.
2. Fezeu L, Julia C, Henegar A, Bitu J, Hu FB, Grobbee DE, et al. Obesity is associated with higher risk of intensive care unit admission and death in influenza A (H1N1) patients: a systematic review and meta analysis. *Obesity Reviews*.
3. Kornum JB, Nørgaard M, Dethlefsen C, Due KM, Thomsen RW, Tjønneland A, Sørensen HT, Overvad K. Obesity and risk of subsequent hospitalisation with pneumonia. *Eur Respir J*. 2010 Dec;36(6):1330-6. Epub 2010 Mar 29.
4. Kim YH, Kim JK, Kim DJ, Nam JH, Shim SM, Choi YK, et al. Diet-Induced Obesity Dramatically Reduces the Efficacy of a 2009 Pandemic H1N1 Vaccine in a Mouse Model. *Journal of Infectious Diseases*.205(2):244-51.
5. Kwong JC, Campitelli MA, Rosella LC. Obesity and respiratory hospitalizations during influenza seasons in Ontario, Canada: a cohort study. *Clinical Infectious Diseases*.53(5):413-21.
6. Poulain M, Doucet M, Major GC, Drapeau V, Series F, Boulet LP, et al. The effect of obesity on chronic respiratory diseases: pathophysiology and therapeutic strategies. *Canadian Medical Association Journal*. 2006;174(9):1293.

7. Sheridan PA, Paich HA, Handy J, Karlsson EA, Hudgens MG, Sammon AB, et al. Obesity is associated with impaired immune response to influenza vaccination in humans. *International Journal of Obesity*.

【世界におけるインフルエンザウイルスの活動性】

2011年第52週～2012年第1週(2011年12月25日～2012年1月7日)において、81の国と地域及び領土の国家インフルエンザセンター(National Influenza Centres: NICs)と他の国家インフルエンザ検査室がFluNetに地域のデータを報告した。WHO GISRSの検査室は27,410件以上の検体を検査した。インフルエンザウイルス陽性検体3,148件(11%)のうち、1,759件(56%)がA型、1,389件(44%)がB型であった。亜型別されたA型のうち、142件(10%)がA(H1N1)pdm09、1,326件(90%)がA(H3N2)であった。解析されたB型のうち419件(68%)は山形系統、199件(32%)はビクトリア系統であった。

・要約

2011年第52週から2012年第1週において、検査により確定されたインフルエンザの活動性は北半球の一部の国々で増加しているが、一般に活動性は低いままである。

世界的にはA(H3N2)が主な亜型として検出されていた。A(H1N1)pdm09の検出は非常に少ない一方で、B型の検出割合は様々である。いくつかの国で山形系統とビクトリア系統の混合流行が報告されていた。

ヨーロッパ、中東、北アフリカ、北アメリカでは、一部の国々で局地的なものから広域流行までさまざまなレベルであるが、A(H3N2)の活動性の持続的な増加が報告されていた。B型は低いレベルで検出され、A(H1N1)pdm09は散発的な検出であった。

アジアでは、一部の国々で局地的なものから地域的なレベルと幅があるが、様々な割合でインフルエンザウイルスの活動性が増加した。日本と韓国ではA(H3N2)が主流であるが、中国ではB型が主流である。他のいくつかの国では、A(H3N2)とB型が混合流行していた。A(H1N1)pdm09は極めて低いレベルで検出されていた。

南半球ではインフルエンザの活動性はA(H3N2)が主流で、低いレベルのままである。

クレード2.3.2.1に属するA/Hubei/1/2010(H5N1)から新しいA(H5N1)再集合体ワクチン候補株が開発され、要望があれば配布可能な状態である。

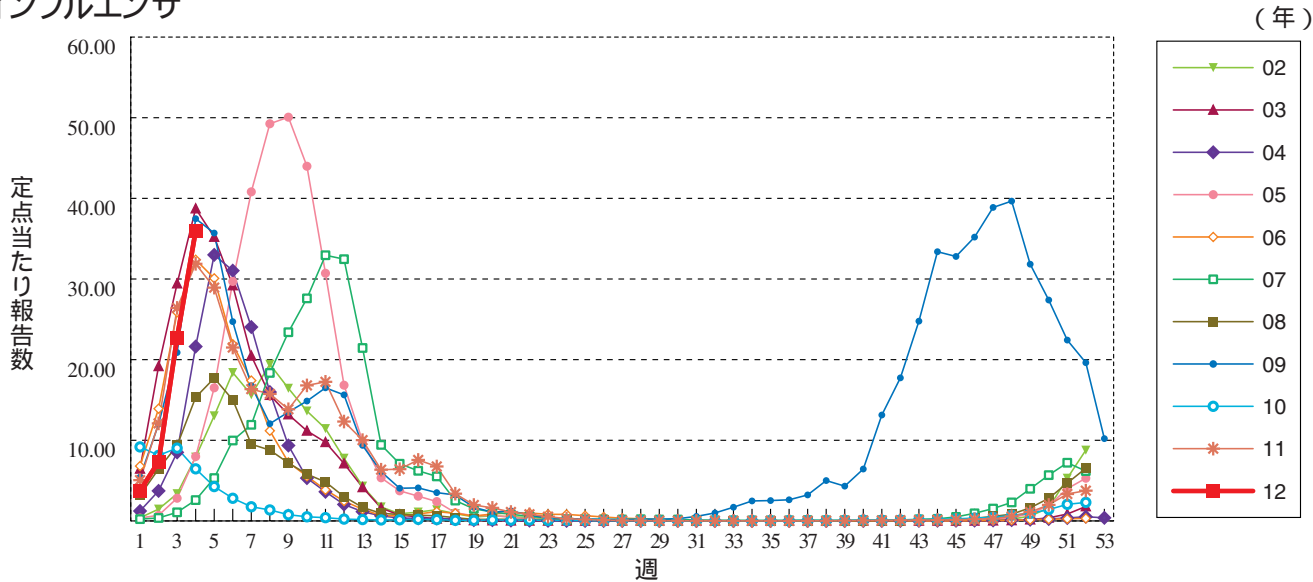


感染症の話

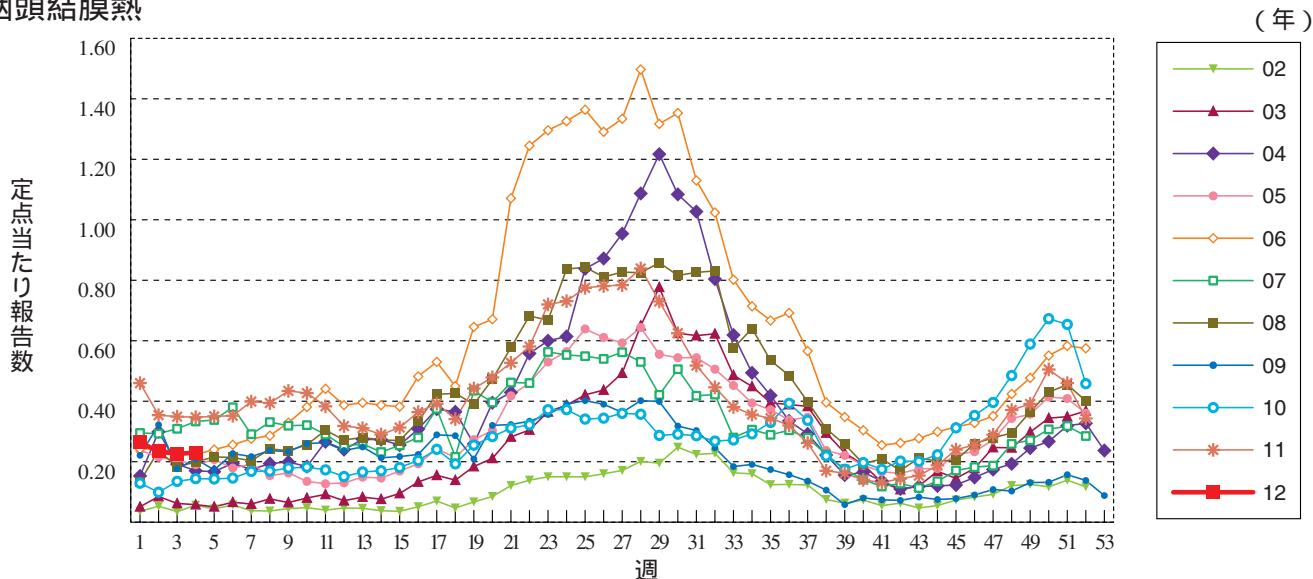
今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

グラフ総覧(4週)

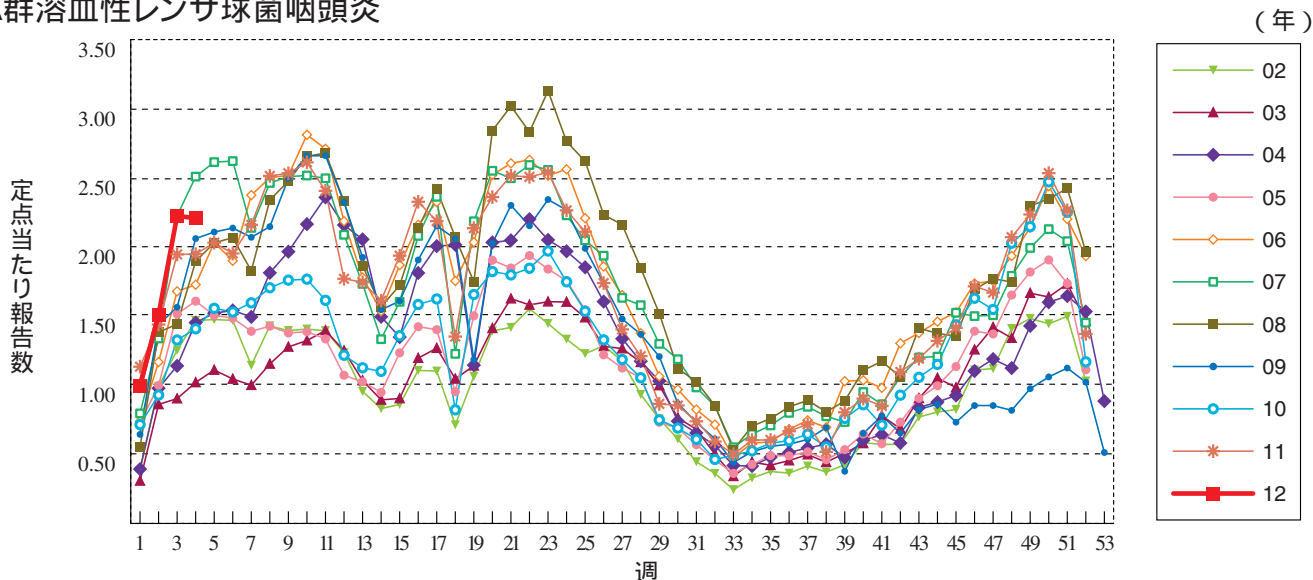
インフルエンザ



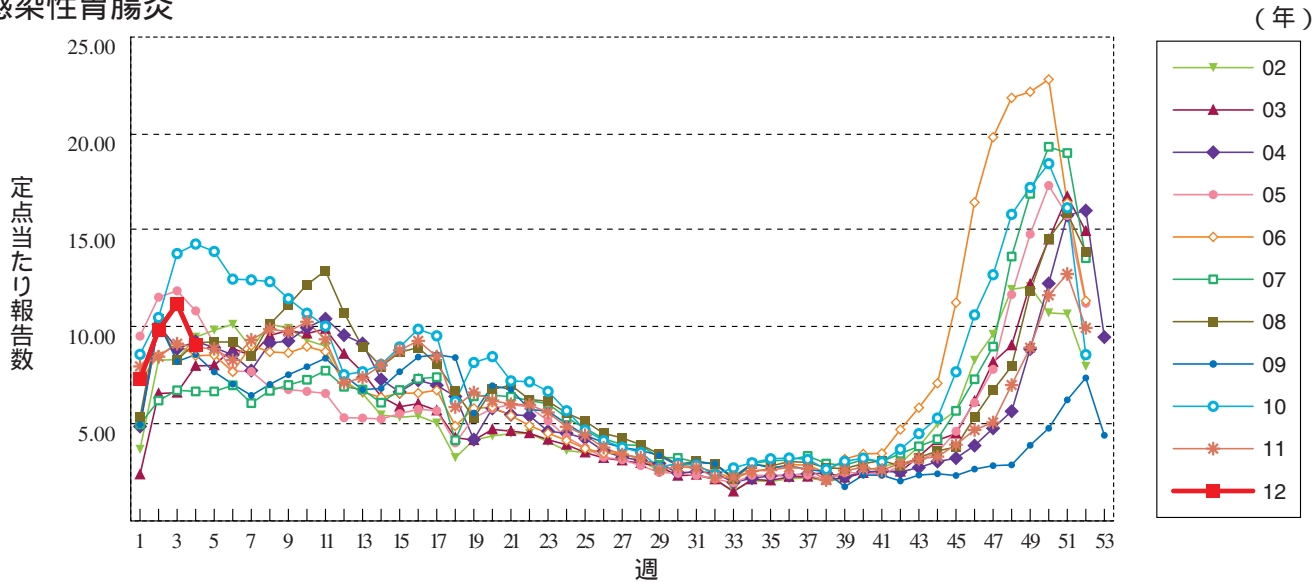
咽頭結膜熱



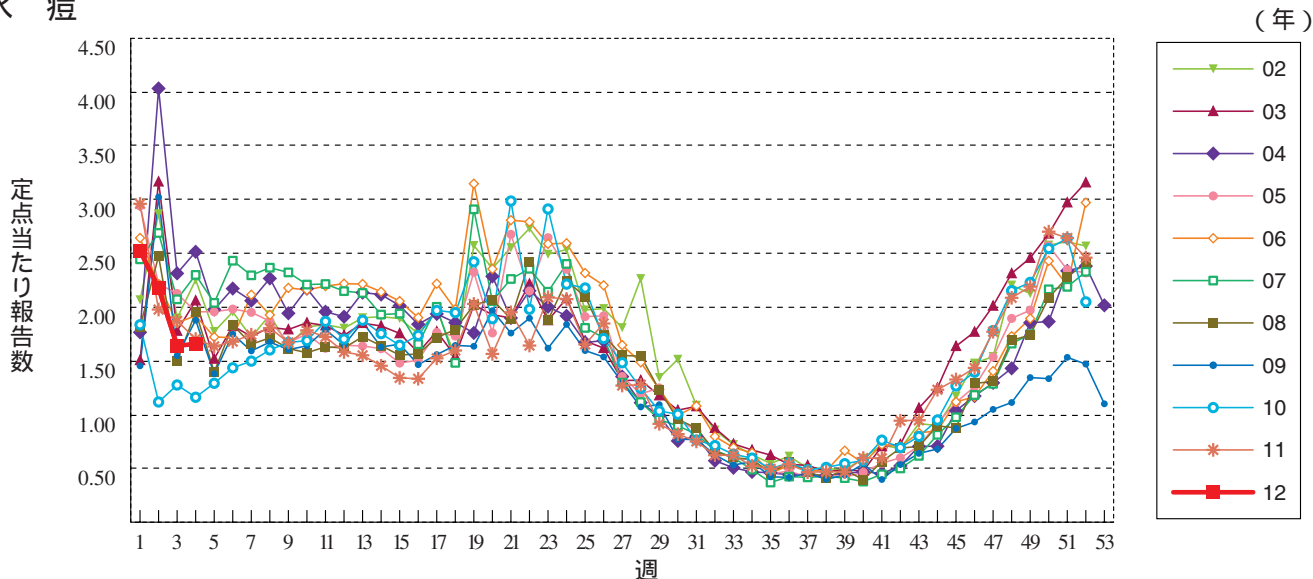
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



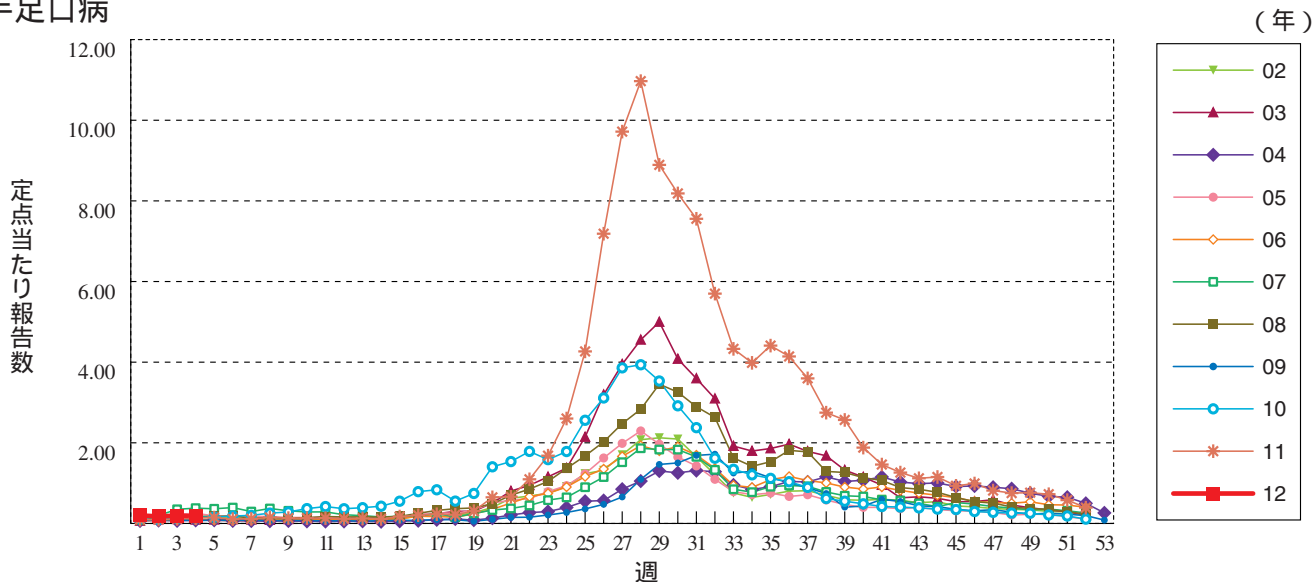
感染性胃腸炎



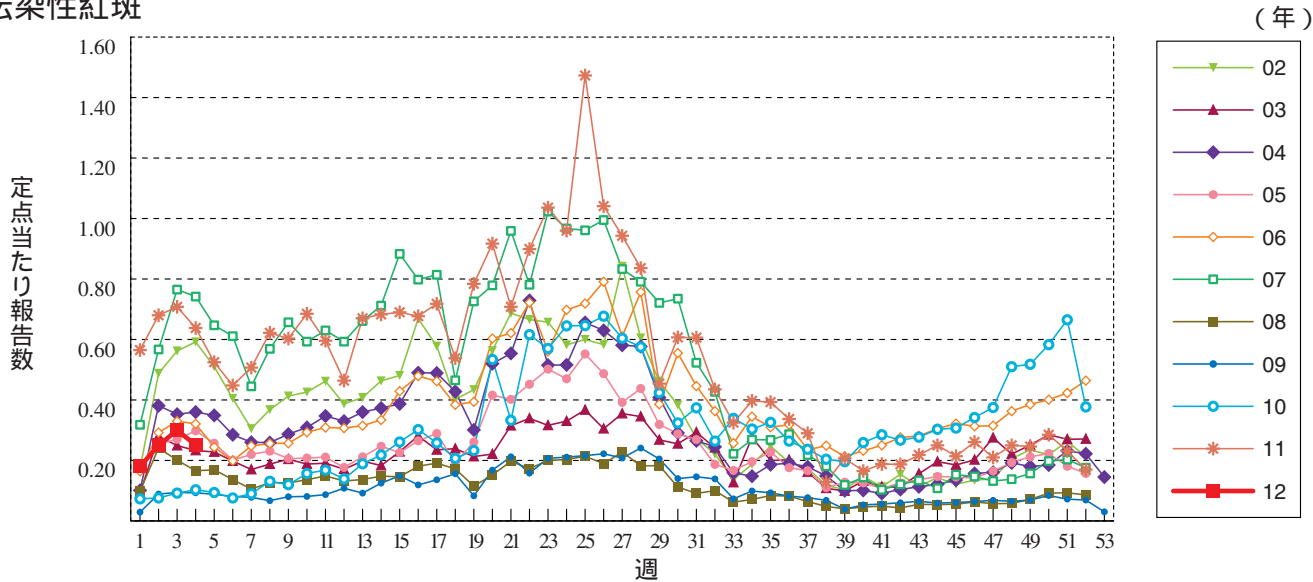
水痘



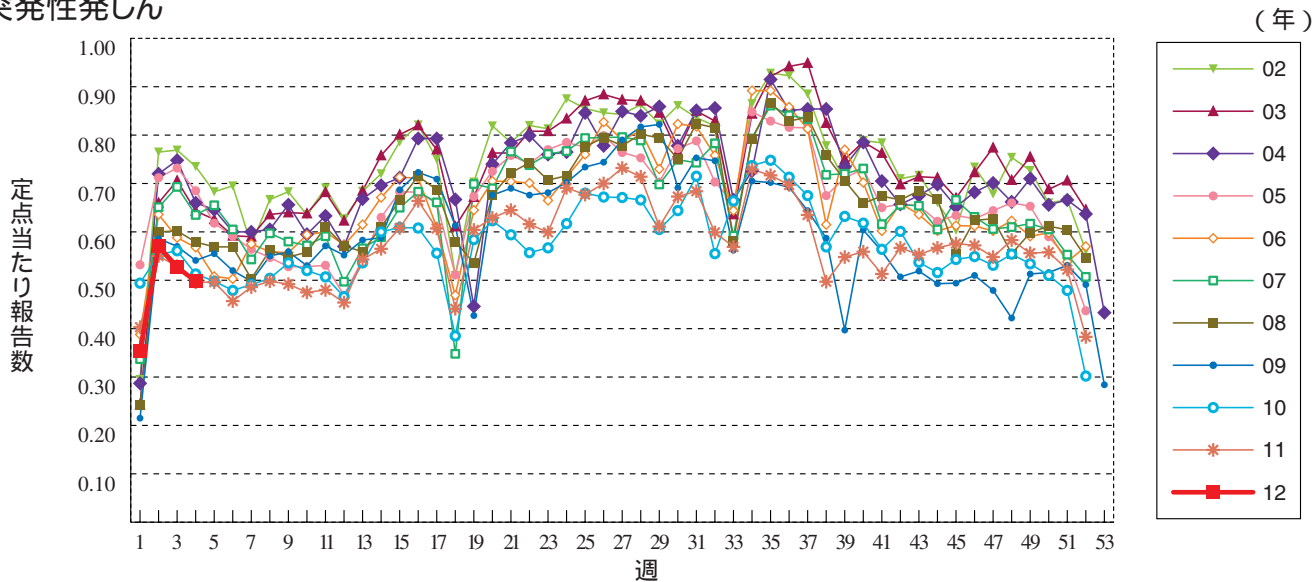
手足口病



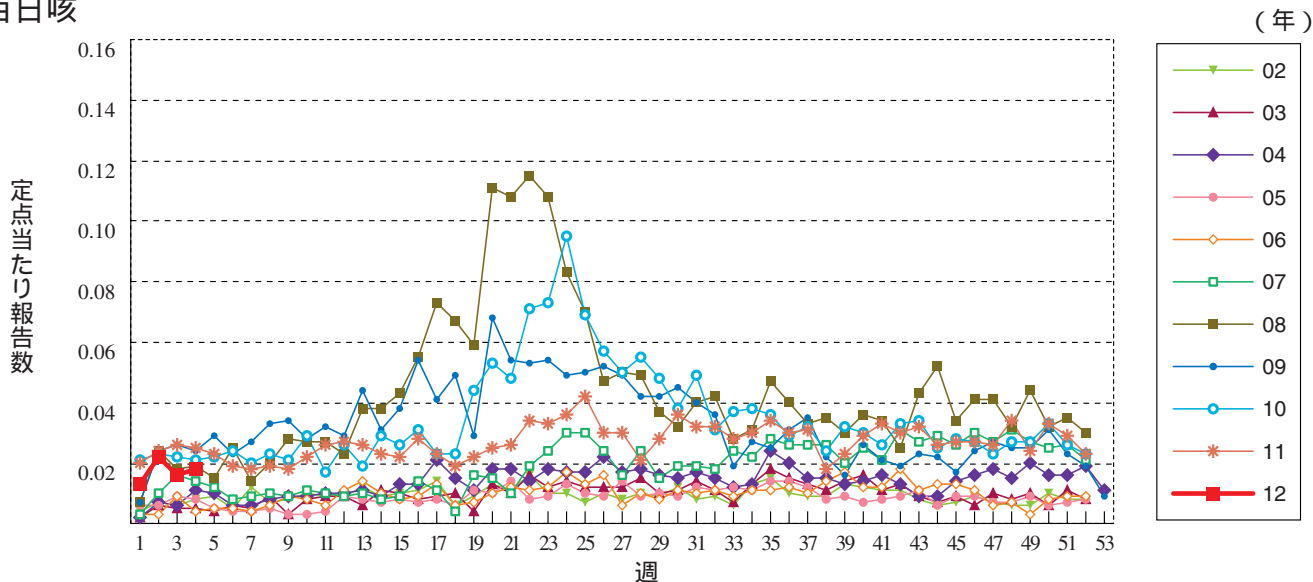
伝染性紅斑



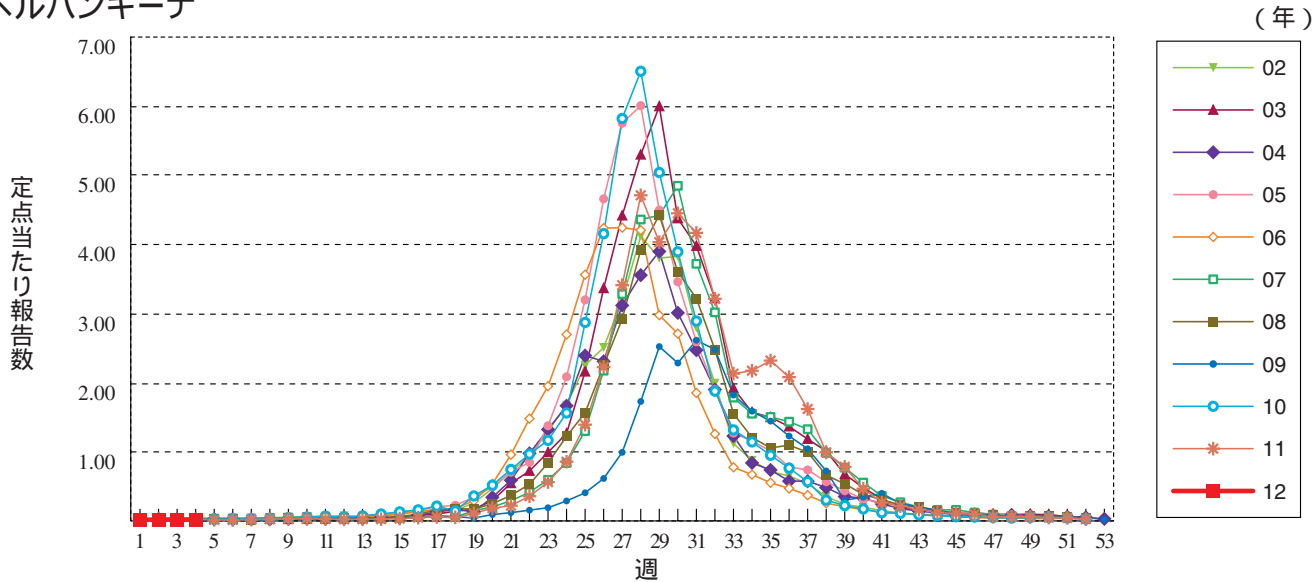
突発性発しん



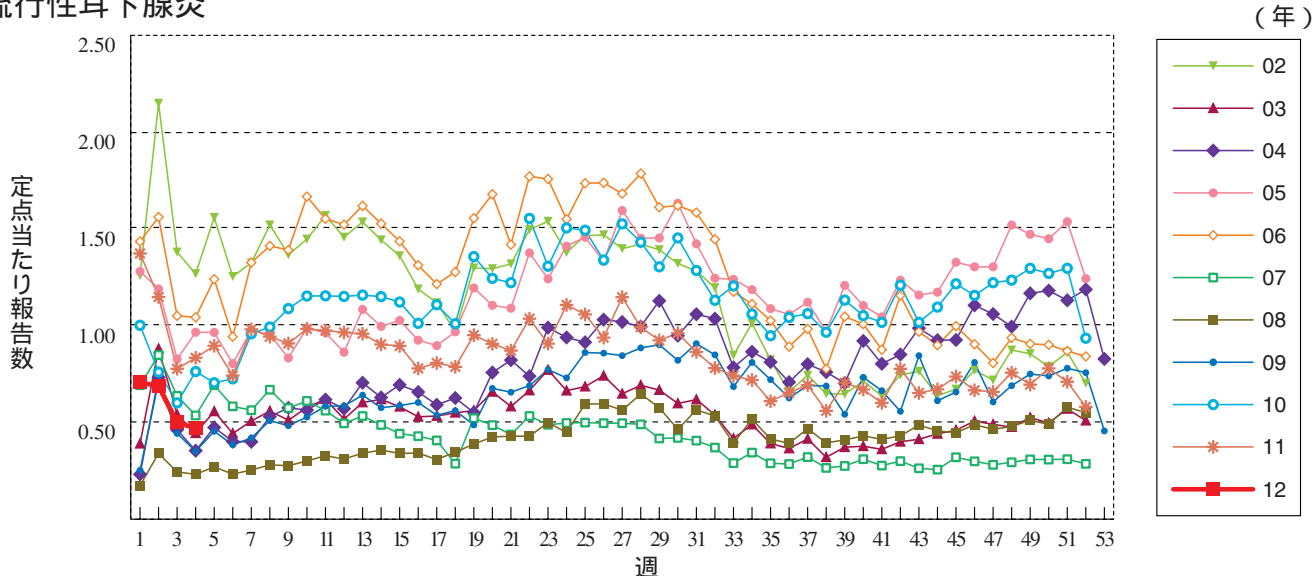
百日咳



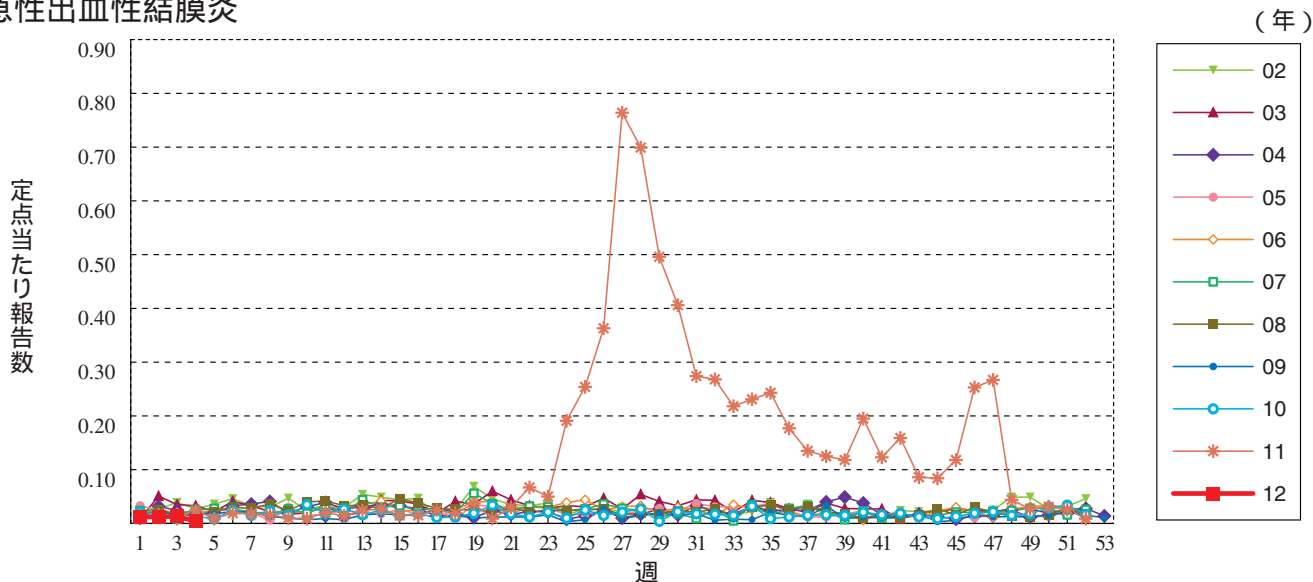
ヘルパンギーナ



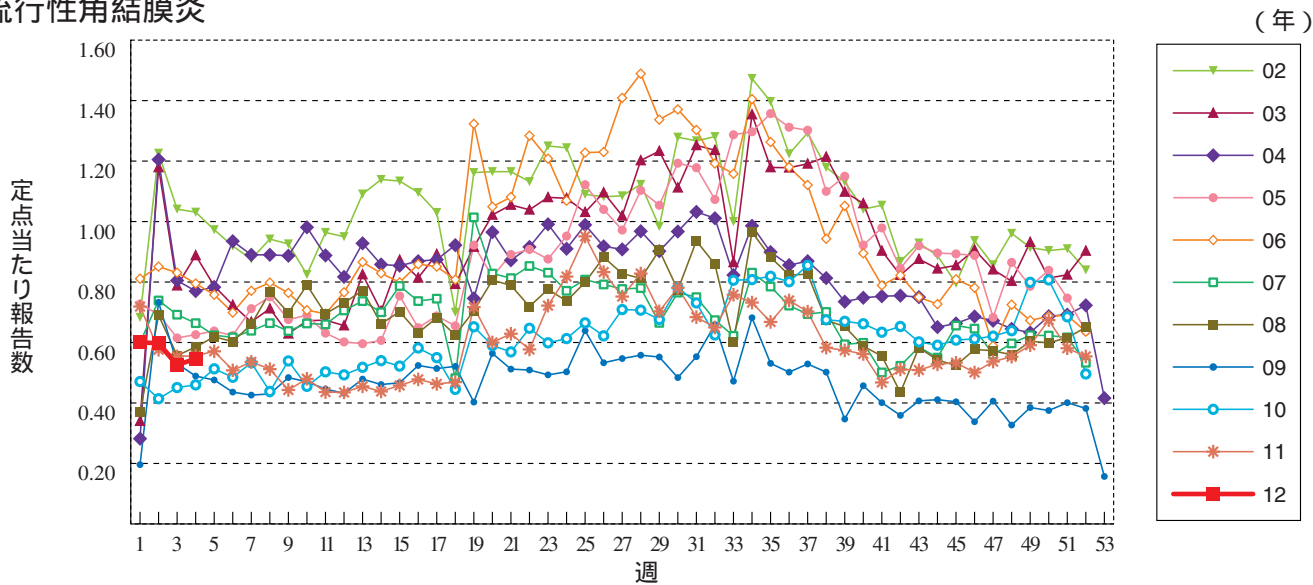
流行性耳下腺炎



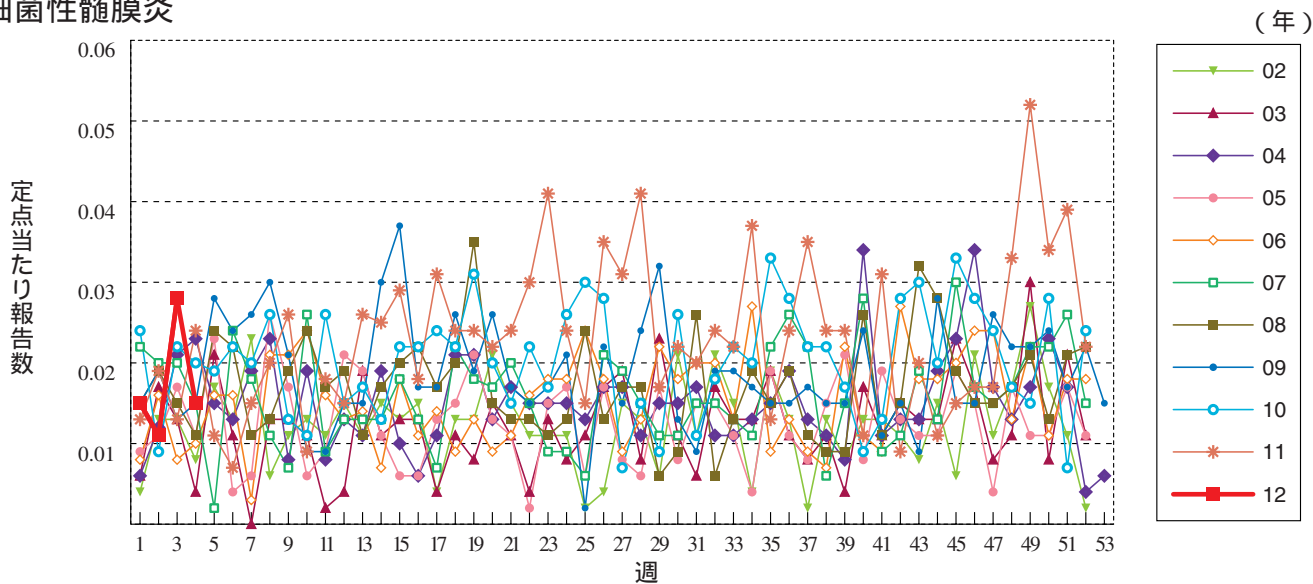
急性出血性結膜炎



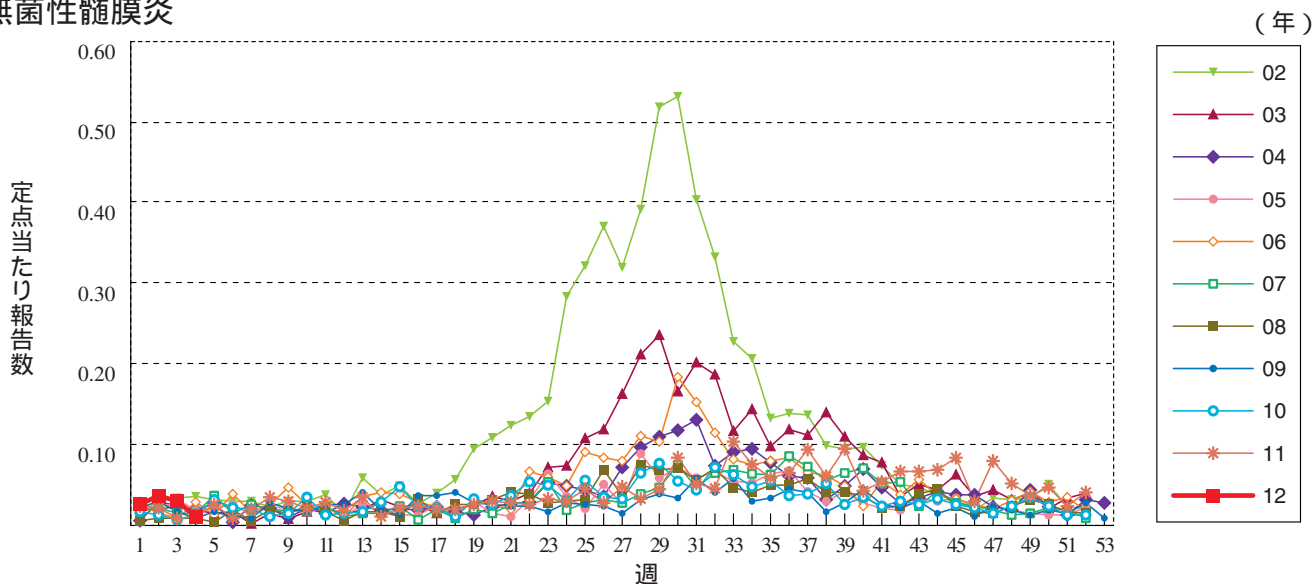
流行性角結膜炎



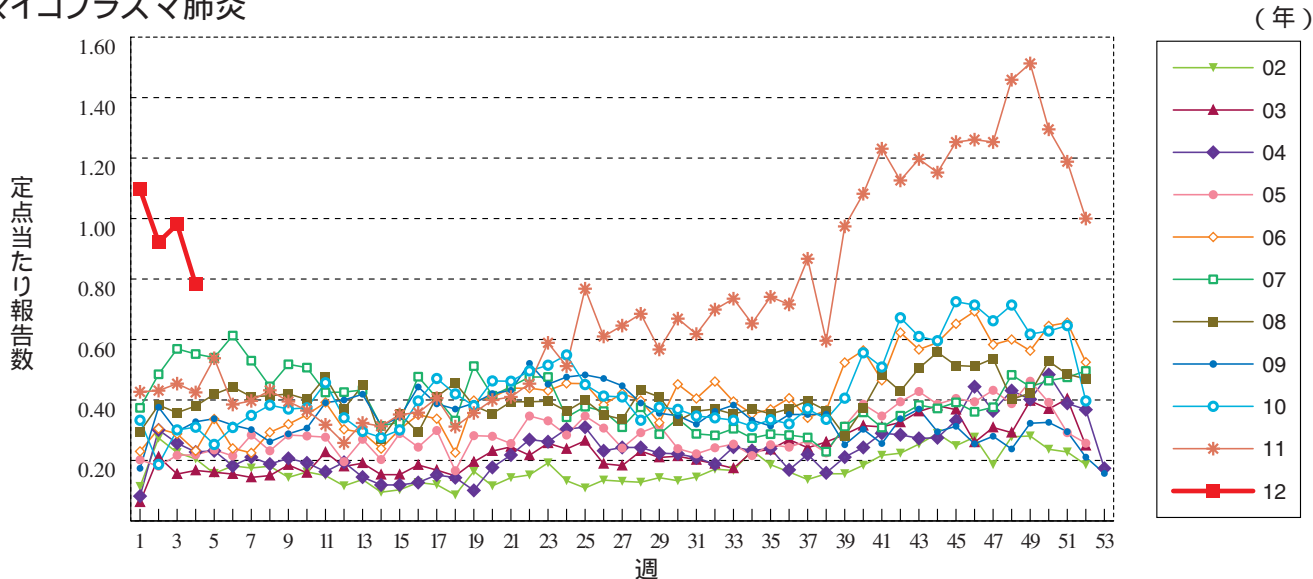
細菌性髄膜炎



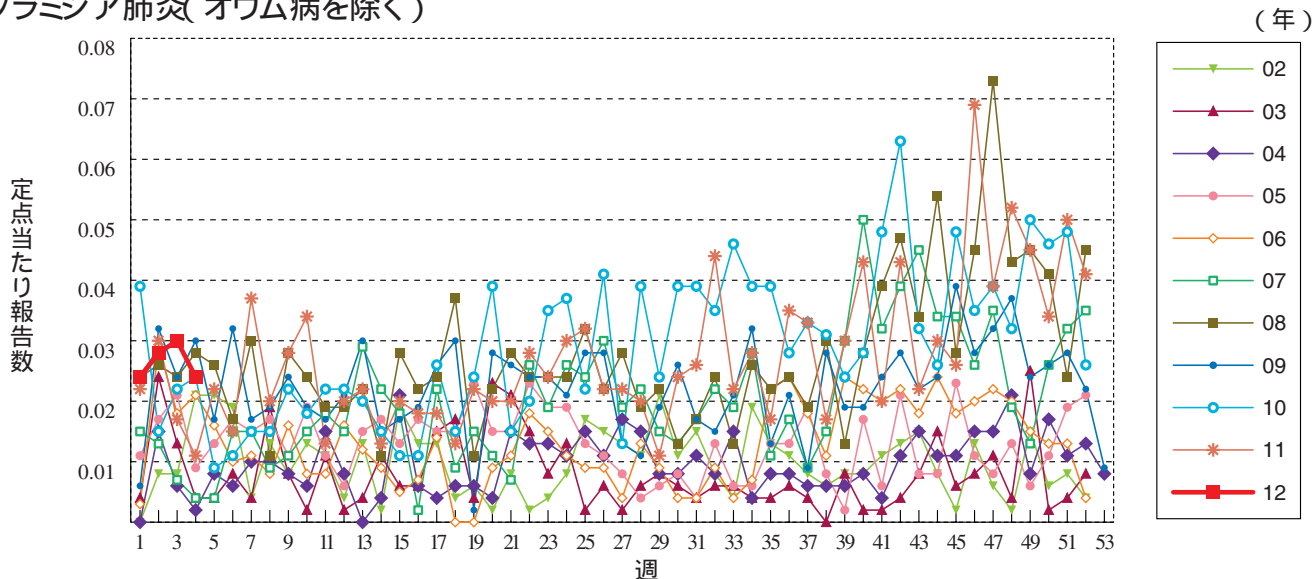
無菌性髄膜炎



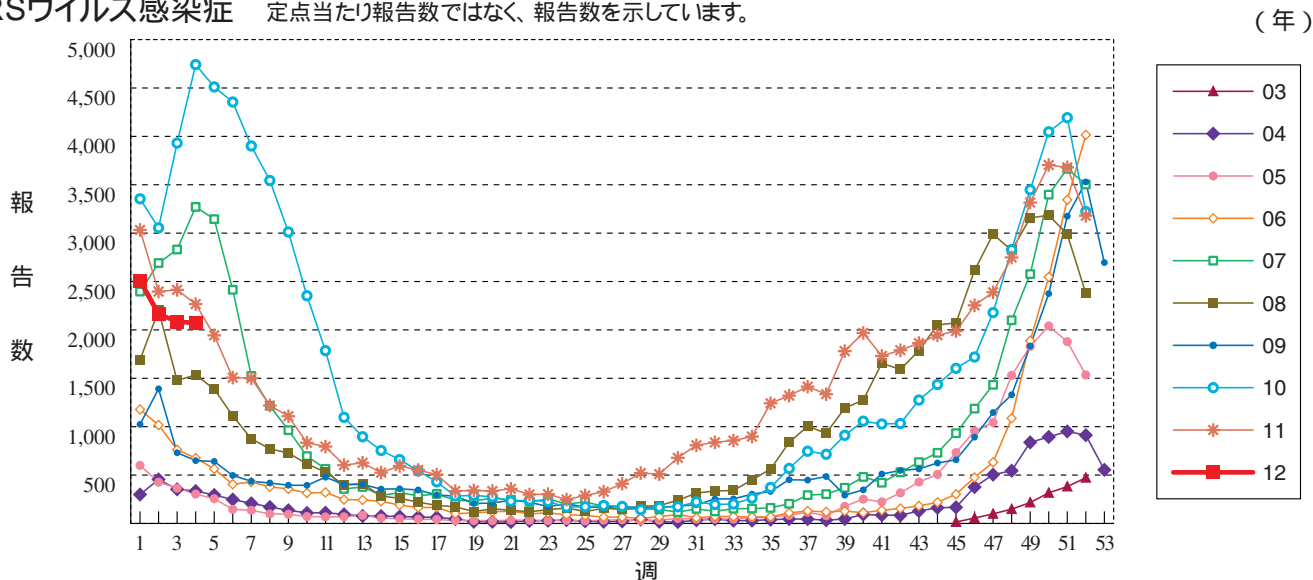
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





4週 of データ

注) 表中の報告数は2月1日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
 新型インフルエンザは掲載していません。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2012年4週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		痘 そう		南米出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		急性灰白髄炎		結 核	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	337	1518
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	40
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	24
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	28
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	16
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	19
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	39
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	17
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	17
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	79
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	24	95
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	60	245
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31	129
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	18
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	11
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	9
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	7
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	8
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	13
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	26
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	19
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	102
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	17
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	21
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	15
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	57
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	62
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	23
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	26
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	39
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	21
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	20
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	20
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	67
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	9
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	27
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	14
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	15
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	26
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	11

*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年4週

	ジフテリア		重症急性 呼吸器症候群*		鳥インフル エンザ(H5N1)		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性 大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		E型肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	1	1	2	12	7	51	-	-	-	1	2	12
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	6
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	3	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	1	-	-	-	-	-	2
神奈川県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	4	-	-	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	17	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年4週

	ウエストナイル熱		A型肝炎		エキノコックス症		黄熱		オウム病		オムスク出血熱		回帰熱		キャサナル森林病		Q熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	7	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年4週

	狂犬病		コクシジ オイデス症		サル痘		腎症候性出血熱		西部ウマ脳炎		ダニ媒介脳炎		炭疽		チクングニア熱		つつが虫病	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	46
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	13
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザ(H5N1)を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年4週

	デング熱		東部ウマ脳炎		鳥インフルエンザ*		ニパウイルス感染症		日本紅斑熱		日本脳炎		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		鼻 疽	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	4	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	2	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年4週

	ブルセラ症		ベネズエラ ウマ脳炎		ヘンドラウイルス 感染症		発しんチフス		ポツリヌス症		マラリア		野 兎 病		ライム病		リッサウイルス 感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*E型肝炎およびA型肝炎を除く。

**ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ペネズエラウマ脳炎およびリフトバレー熱を除く。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

2012年4週

	リフトバレー熱		類鼻疽		レジオネラ症		レプトスピラ症		ロッキー山 紅斑熱		アメーバ赤痢		ウイルス性肝炎*		急性脳炎**		クリプト スポリジウム症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	6	45	-	1	-	-	13	57	2	10	6	38	1	1
北海道	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	2	3	-	-	1	3	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	1	7	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	2	9	-	2	-	3	1	1
神奈川県	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	2	6	-	-	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
石川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-	-	1	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	2	11	2	3	-	3	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1	3	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2	2	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	4	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年4週

	クローンツェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		ジアルジア症		髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		梅毒		破傷風		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	3	9	1	22	22	90	1	1	-	2	-	-	10	44	2	8	-	-
北海道	-	-	-	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	2	2	-	2	-	-
栃木県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-
千葉県	-	2	-	2	1	5	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
東京都	-	1	-	-	6	31	-	-	-	-	-	-	3	17	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-
愛知県	-	-	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-
三重県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	1	-	-	6	12	-	-	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
奈良県	-	1	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	2	-	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2012年4週

	バンコマイシン耐性腸球菌感染症		風しん		麻しん	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	4	2	19	8	25
北海道	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	1	1	2	3
東京都	-	1	-	4	-	4
神奈川県	-	-	-	1	2	3
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	1	1
静岡県	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	5
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	1	1	1
京都府	-	-	-	2	1	1
大阪府	-	2	1	4	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	5
山口県	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	1	1
高知県	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	3	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-

*鳥インフルエンザを除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2012年4週

	インフルエンザ*		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	177290	35.95	723	0.23	6929	2.21	28450	9.07	5202	1.66	560	0.18	788	0.25	1562	0.50	57	0.02
北海道	4753	20.94	49	0.34	522	3.65	480	3.36	158	1.10	36	0.25	29	0.20	55	0.38	6	0.04
青森県	1666	25.63	7	0.17	94	2.24	124	2.95	72	1.71	-	-	4	0.10	17	0.40	-	-
岩手県	2868	45.52	5	0.13	86	2.15	177	4.43	106	2.65	2	0.05	23	0.58	18	0.45	-	-
宮城県	2719	29.24	11	0.19	191	3.29	613	10.57	133	2.29	3	0.05	4	0.07	27	0.47	-	-
秋田県	1168	21.24	10	0.29	69	1.97	193	5.51	31	0.89	6	0.17	-	-	15	0.43	-	-
山形県	1904	39.67	3	0.10	105	3.50	266	8.87	85	2.83	3	0.10	14	0.47	22	0.73	-	-
福島県	3140	39.25	6	0.13	150	3.13	280	5.83	120	2.50	26	0.54	31	0.65	30	0.63	1	0.02
茨城県	2930	24.42	13	0.17	165	2.20	566	7.55	81	1.08	6	0.08	4	0.05	19	0.25	-	-
栃木県	1898	24.97	4	0.08	44	0.92	348	7.25	51	1.06	7	0.15	13	0.27	20	0.42	4	0.08
群馬県	1197	12.21	14	0.23	152	2.53	530	8.83	117	1.95	10	0.17	4	0.07	31	0.52	1	0.02
埼玉県	9269	37.38	21	0.13	386	2.46	1569	9.99	273	1.74	20	0.13	16	0.10	89	0.57	-	-
千葉県	7992	38.06	33	0.25	376	2.87	1376	10.50	183	1.40	21	0.16	13	0.10	77	0.59	4	0.03
東京都	13473	32.23	54	0.21	612	2.33	2543	9.67	377	1.43	14	0.05	51	0.19	126	0.48	8	0.03
神奈川県	11333	34.24	29	0.14	308	1.52	1698	8.36	216	1.06	23	0.11	66	0.33	123	0.61	2	0.01
新潟県	1302	13.71	76	1.27	185	3.08	768	12.80	103	1.72	18	0.30	26	0.43	29	0.48	-	-
富山県	1229	25.60	23	0.79	201	6.93	306	10.55	53	1.83	15	0.52	1	0.03	9	0.31	-	-
石川県	2276	47.42	6	0.21	158	5.45	373	12.86	74	2.55	37	1.28	-	-	15	0.52	-	-
福井県	2396	74.88	4	0.18	116	5.27	361	16.41	57	2.59	9	0.41	4	0.18	11	0.50	-	-
山梨県	1331	33.28	7	0.29	28	1.17	222	9.25	23	0.96	4	0.17	5	0.21	6	0.25	-	-
長野県	2918	33.16	4	0.07	144	2.62	674	12.25	137	2.49	7	0.13	39	0.71	22	0.40	-	-
岐阜県	4339	49.87	3	0.06	46	0.87	274	5.17	52	0.98	3	0.06	15	0.28	19	0.36	-	-
静岡県	6442	48.07	9	0.11	133	1.58	684	8.14	97	1.15	6	0.07	6	0.07	35	0.42	1	0.01
愛知県	11793	60.48	40	0.22	277	1.53	1639	9.06	228	1.26	21	0.12	67	0.37	71	0.39	3	0.02
三重県	3930	54.58	13	0.29	81	1.80	448	9.96	112	2.49	11	0.24	3	0.07	29	0.64	-	-
滋賀県	1858	35.06	2	0.06	65	2.03	265	8.28	41	1.28	31	0.97	4	0.13	19	0.59	-	-
京都府	4664	38.87	3	0.04	65	0.92	542	7.63	103	1.45	28	0.39	2	0.03	28	0.39	-	-
大阪府	13339	44.61	22	0.11	346	1.77	1413	7.25	347	1.78	26	0.13	46	0.24	75	0.38	2	0.01
兵庫県	7686	38.62	19	0.15	176	1.36	1289	9.99	220	1.71	16	0.12	23	0.18	73	0.57	2	0.02
奈良県	2294	41.71	7	0.20	32	0.91	274	7.83	28	0.80	4	0.11	7	0.20	5	0.14	-	-
和歌山県	2416	48.32	14	0.45	35	1.13	246	7.94	43	1.39	6	0.19	6	0.19	22	0.71	-	-
鳥取県	715	24.66	2	0.11	74	3.89	132	6.95	52	2.74	2	0.11	26	1.37	8	0.42	-	-
島根県	600	15.79	-	-	26	1.13	177	7.70	32	1.39	3	0.13	23	1.00	19	0.83	-	-
岡山県	3014	35.88	7	0.13	32	0.59	464	8.59	57	1.06	30	0.56	14	0.26	23	0.43	-	-
広島県	4231	36.79	19	0.26	126	1.75	654	9.08	87	1.21	12	0.17	36	0.50	30	0.42	4	0.06
山口県	3149	45.64	4	0.08	133	2.77	336	7.00	107	2.23	-	-	21	0.44	29	0.60	1	0.02
徳島県	1337	35.18	7	0.30	35	1.52	141	6.13	48	2.09	3	0.13	19	0.83	8	0.35	-	-
香川県	2115	43.16	9	0.30	19	0.63	196	6.53	30	1.00	9	0.30	13	0.43	16	0.53	1	0.03
愛媛県	2681	43.95	5	0.14	84	2.27	412	11.14	67	1.81	17	0.46	27	0.73	21	0.57	1	0.03
高知県	3201	66.69	1	0.03	51	1.70	141	4.70	28	0.93	2	0.07	30	1.00	11	0.37	1	0.03
福岡県	6324	31.94	80	0.67	374	3.12	1403	11.69	288	2.40	9	0.08	5	0.04	75	0.63	3	0.03
佐賀県	663	17.00	11	0.48	61	2.65	178	7.74	40	1.74	1	0.04	3	0.13	19	0.83	1	0.04
長崎県	1416	20.23	6	0.14	104	2.36	512	11.64	78	1.77	1	0.02	3	0.07	17	0.39	-	-
熊本県	3011	37.64	11	0.23	64	1.33	751	15.65	82	1.71	1	0.02	7	0.15	43	0.90	-	-
大分県	1601	27.60	4	0.11	160	4.44	934	25.94	69	1.92	2	0.06	20	0.56	22	0.61	-	-
宮崎県	2235	38.53	19	0.54	91	2.60	591	16.89	141	4.03	20	0.57	7	0.20	35	1.00	-	-
鹿児島県	2832	30.78	20	0.37	120	2.22	786	14.56	189	3.50	20	0.37	6	0.11	30	0.56	2	0.04
沖縄県	1642	28.31	7	0.21	27	0.79	101	2.97	86	2.53	9	0.26	2	0.06	19	0.56	9	0.26

*髄膜炎菌性髄膜炎は除く。

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

2012年4週

	ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎		急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎*		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎		RSウイルス感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数
総数	53	0.02	1473	0.47	3	0.00	370	0.55	7	0.02	5	0.01	363	0.78	11	0.02	2073
北海道	2	0.01	32	0.22	-	-	12	0.41	-	-	-	-	9	0.39	-	-	148
青森県	-	-	43	1.02	-	-	3	0.27	-	-	-	-	8	1.33	-	-	22
岩手県	1	0.03	53	1.33	-	-	3	0.21	-	-	-	-	30	1.58	-	-	30
宮城県	-	-	51	0.88	-	-	1	0.08	-	-	-	-	19	1.58	-	-	27
秋田県	-	-	5	0.14	1	0.14	5	0.71	-	-	-	-	2	0.25	-	-	20
山形県	-	-	46	1.53	-	-	1	0.13	-	-	-	-	7	0.70	1	0.10	13
福島県	1	0.02	19	0.40	-	-	12	1.00	-	-	-	-	18	2.57	2	0.29	43
茨城県	2	0.03	36	0.48	-	-	17	1.00	1	0.08	-	-	8	0.62	-	-	22
栃木県	-	-	13	0.27	-	-	4	0.33	1	0.14	-	-	16	2.29	1	0.14	14
群馬県	1	0.02	75	1.25	-	-	17	1.21	1	0.13	-	-	5	0.63	-	-	20
埼玉県	-	-	32	0.20	1	0.02	21	0.51	-	-	1	0.11	24	2.67	2	0.22	62
千葉県	5	0.04	25	0.19	-	-	30	0.91	-	-	-	-	6	0.67	3	0.33	34
東京都	6	0.02	50	0.19	-	-	22	0.56	2	0.08	3	0.12	19	0.76	-	-	87
神奈川県	-	-	36	0.18	-	-	49	1.09	-	-	-	-	3	0.33	-	-	68
新潟県	-	-	100	1.67	-	-	4	0.40	-	-	-	-	17	1.31	1	0.08	21
富山県	-	-	10	0.34	-	-	1	0.14	-	-	-	-	8	1.60	-	-	16
石川県	1	0.03	4	0.14	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.60	-	-	3
福井県	-	-	5	0.23	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.67	-	-	4
山梨県	-	-	19	0.79	-	-	4	0.44	-	-	-	-	4	0.40	-	-	8
長野県	-	-	18	0.33	-	-	7	0.64	-	-	-	-	11	1.00	-	-	48
岐阜県	1	0.02	33	0.62	-	-	1	0.09	-	-	-	-	3	0.60	-	-	49
静岡県	2	0.02	57	0.68	-	-	6	0.30	-	-	-	-	2	0.22	-	-	80
愛知県	2	0.01	61	0.34	-	-	15	0.44	-	-	-	-	13	1.00	-	-	100
三重県	-	-	23	0.51	-	-	2	0.17	-	-	-	-	1	0.11	-	-	40
滋賀県	2	0.06	24	0.75	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
京都府	1	0.01	6	0.08	-	-	6	0.33	-	-	-	-	3	0.43	-	-	18
大阪府	6	0.03	33	0.17	-	-	10	0.21	1	0.07	-	-	20	1.33	-	-	182
兵庫県	-	-	54	0.42	-	-	11	0.31	-	-	-	-	10	0.83	-	-	93
奈良県	1	0.03	7	0.20	-	-	2	0.22	-	-	-	-	2	0.33	-	-	16
和歌山県	-	-	1	0.03	-	-	1	0.25	-	-	-	-	7	0.64	-	-	22
鳥取県	1	0.05	26	1.37	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20	-	-	27
島根県	-	-	15	0.65	-	-	2	0.67	-	-	-	-	7	0.88	-	-	51
岡山県	1	0.02	30	0.56	-	-	5	0.42	-	-	-	-	5	1.00	1	0.20	16
広島県	-	-	15	0.21	-	-	14	0.74	-	-	-	-	13	0.62	-	-	84
山口県	1	0.02	19	0.40	-	-	5	0.56	-	-	-	-	3	0.33	-	-	69
徳島県	2	0.09	19	0.83	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
香川県	-	-	9	0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.20	-	-	14
愛媛県	-	-	44	1.19	-	-	23	2.88	-	-	-	-	2	0.33	-	-	43
高知県	-	-	22	0.73	-	-	2	0.67	-	-	-	-	4	0.57	-	-	78
福岡県	2	0.02	106	0.88	-	-	19	0.73	-	-	-	-	3	0.20	-	-	166
佐賀県	-	-	11	0.48	-	-	-	-	-	-	-	-	5	0.83	-	-	27
長崎県	1	0.02	20	0.45	-	-	5	0.63	-	-	-	-	6	0.55	-	-	22
熊本県	5	0.10	36	0.75	-	-	1	0.11	1	0.07	-	-	4	0.27	-	-	57
大分県	1	0.03	30	0.83	1	0.20	3	0.60	-	-	-	-	5	0.45	-	-	26
宮崎県	3	0.09	52	1.49	-	-	11	1.83	-	-	-	-	3	0.43	-	-	14
鹿児島県	1	0.02	45	0.83	-	-	8	1.14	-	-	-	-	5	0.42	-	-	24
沖縄県	1	0.03	3	0.09	-	-	5	0.50	-	-	1	0.14	14	2.00	-	-	9

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

注 報告数は感染実験等の学術的研究による発生を除く。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

2012年4週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群(SARS)						結核		鳥インフルエンザ(H5N1)		細菌性赤痢	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		サル		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別 2012年4週

	ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	鳥類		犬	
	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-

感染症週報 第14巻 第4号 2012年2月10日発行
 発行：国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 < 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
 < 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
 < 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。